

保護者-23-4. 子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人

④ 子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪市大正区の保護者全体では、「いる」が78.1%、「いない」が7.8%、「わからない」が13.1%、「無回答」が1.0%であった。

小学5年生の保護者では、「いる」が78.9%、「いない」が7.8%、「わからない」が12.4%、「無回答」が0.9%であった。

中学2年生の保護者では、「いる」が77.3%、「いない」が7.8%、「わからない」が13.7%、「無回答」が1.2%であった。

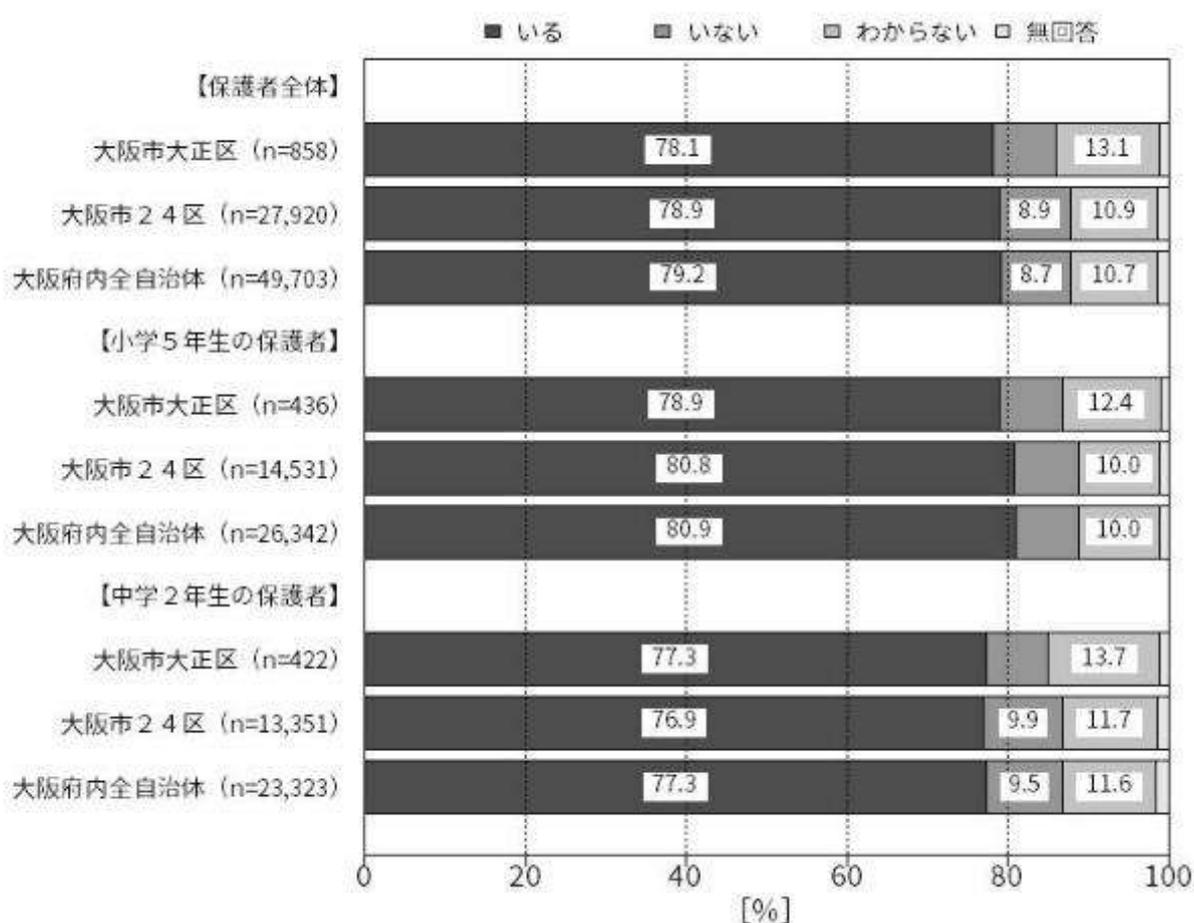


図 95. 子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人

保護者-23-5. 子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人（運動や文化活動）

⑤ 子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人（運動や文化活動）（あてはまる番号1つに○をつけてください）

大阪市大正区の保護者全体では、「いる」が67.6%、「いない」が13.2%、「わからない」が18.2%、「無回答」が1.0%であった。

小学5年生の保護者では、「いる」が71.6%、「いない」が11.0%、「わからない」が16.3%、「無回答」が1.1%であった。

中学2年生の保護者では、「いる」が63.5%、「いない」が15.4%、「わからない」が20.1%、「無回答」が0.9%であった。

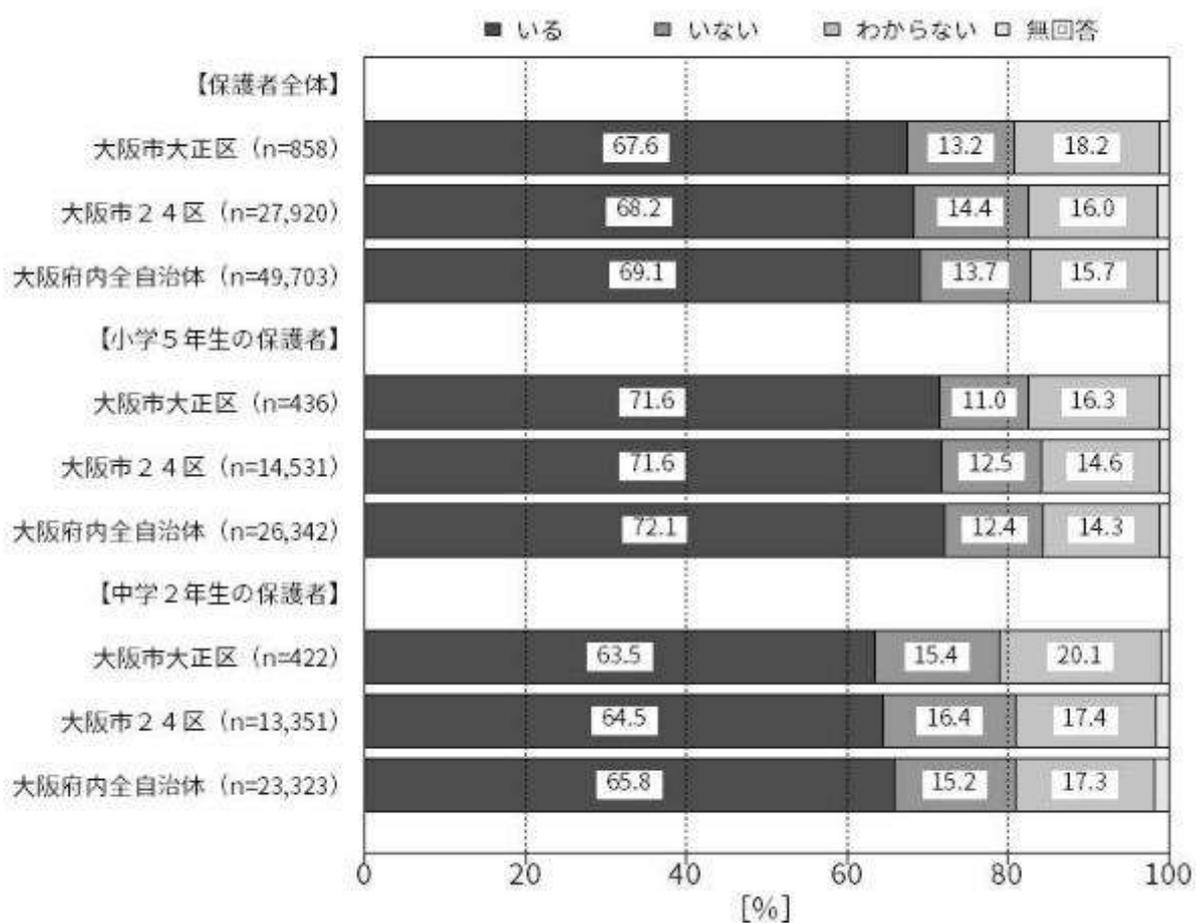


図 96. 子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人（運動や文化活動）

保護者-23-6. 子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人

⑥ 子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪市大正区の保護者全体では、「いる」が72.6%、「いない」が19.9%、「わからない」が6.8%、「無回答」が0.7%であった。

小学5年生の保護者では、「いる」が71.8%、「いない」が20.6%、「わからない」が6.7%、「無回答」が0.9%であった。

中学2年生の保護者では、「いる」が73.5%、「いない」が19.2%、「わからない」が6.9%、「無回答」が0.5%であった。

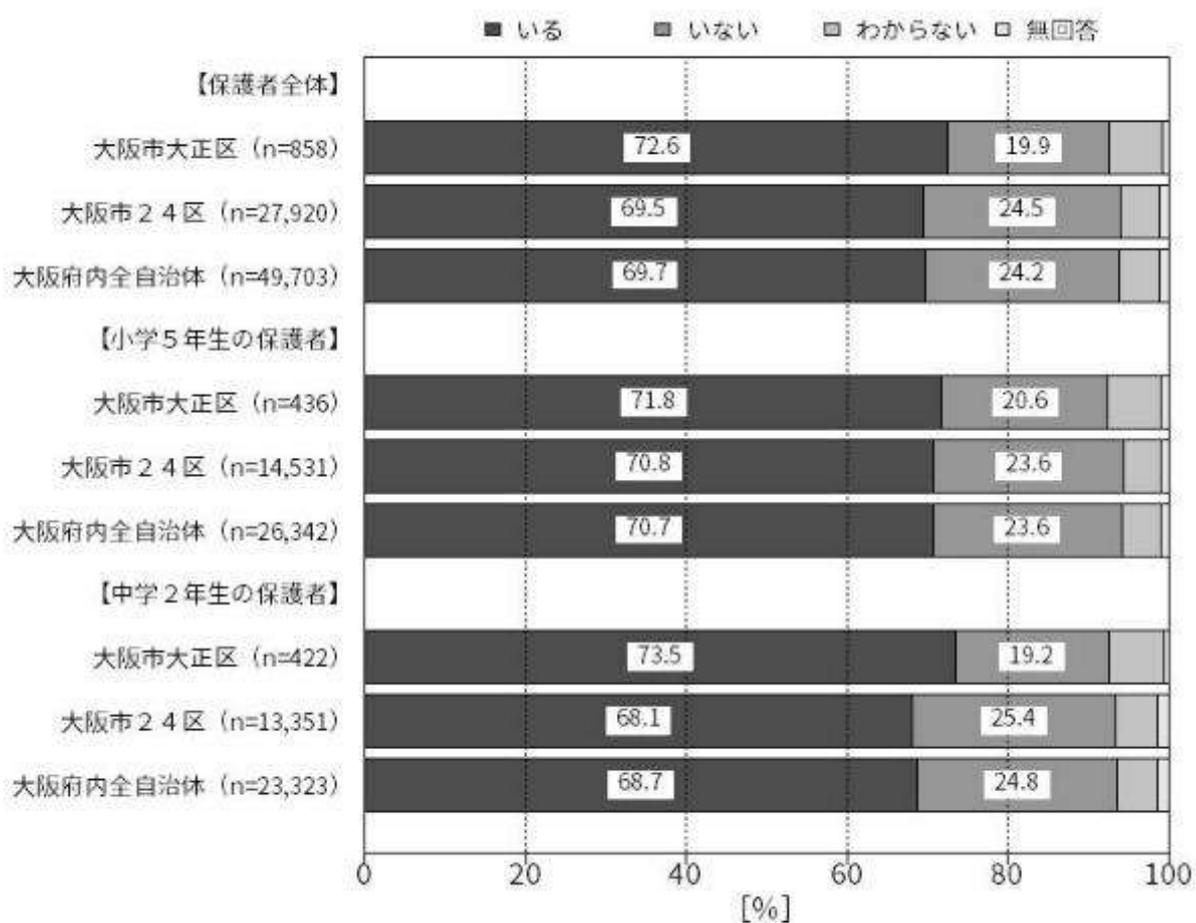


図 97. 子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人

保護者-23-7. 留守を頼める人

⑦ 留守を頼める人 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

大阪市大正区の保護者全体では、「いる」が65.5%、「いない」が27.0%、「わからない」が6.5%、「無回答」が0.9%であった。

小学5年生の保護者では、「いる」が66.7%、「いない」が26.1%、「わからない」が6.2%、「無回答」が0.9%であった。

中学2年生の保護者では、「いる」が64.2%、「いない」が28.0%、「わからない」が6.9%、「無回答」が0.9%であった。

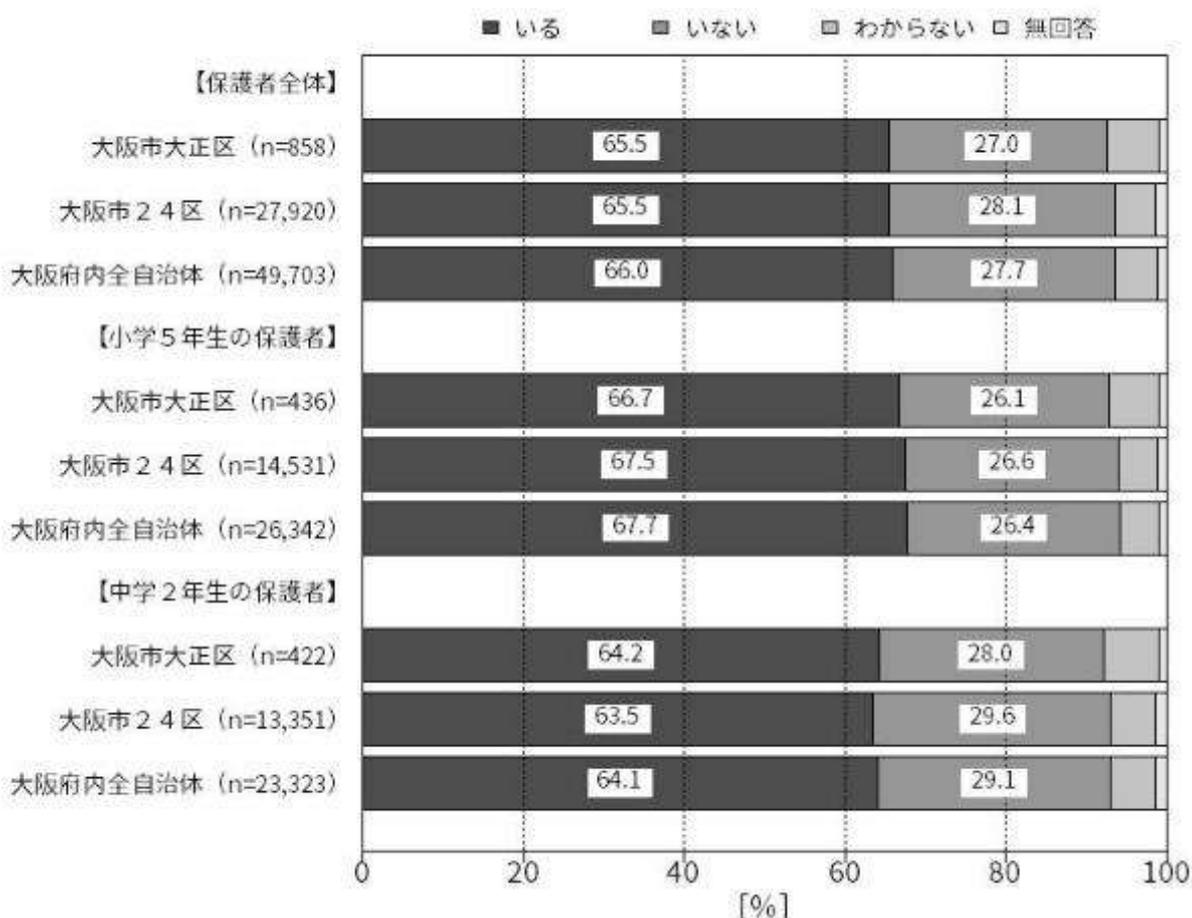


図 98. 留守を頼める人

#### 保護者-24. 困ったときの相談先

あなたが本当に困ったときや悩みがあるとき、相談相手や相談先はどこですか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

大阪市大正区の保護者全体では、「配偶者・パートナー」が66.9%、「自分の親」が64.1%、「近隣に住む知人や友人」が40.9%、「きょうだい・その他の親戚」が36.6%、「近隣に住んでいない知人や友人」が19.5%の順に高くなっている。

小学5年生の保護者では、「配偶者・パートナー」が67.4%、「自分の親」が67.2%、「近隣に住む知人や友人」が43.8%、「きょうだい・その他の親戚」が39.0%、「近隣に住んでいない知人や友人」が20.9%の順に高くなっている。

中学2年生の保護者では、「配偶者・パートナー」が66.4%、「自分の親」が60.9%、「近隣に住む知人や友人」が37.9%、「きょうだい・その他の親戚」が34.1%、「近隣に住んでいない知人や友人」が18.0%の順に高くなっている。

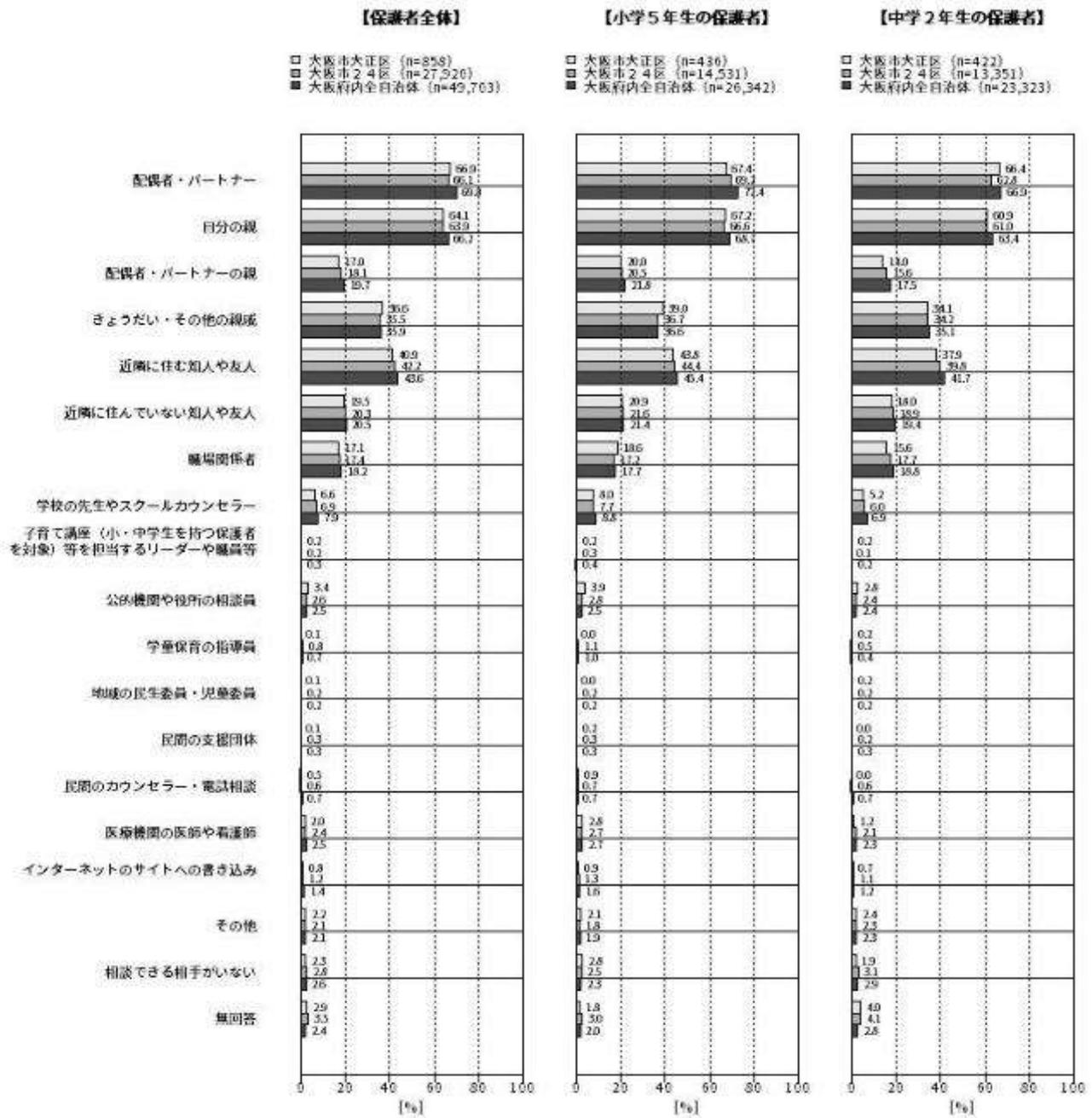


図 99. 困ったときの相談先

子ども-22. 嫌なことや悩んでいるときの相談相手

あなたは、いやなことや悩んでいることがあるとき、だれかに相談しますか。(だれに話しますか。)  
(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

大阪市大正区の全体では、「親」が 54.9%、「学校のともだち」が 42.4%、「きょうだい」が 13.8%、「担任の先生や他のクラスの先生」が 12.6%、「だれにも相談したくない」が 12.3%の順に高くなっている。

小学5年生では、「親」が 65.8%、「学校のともだち」が 37.4%、「担任の先生や他のクラスの先生」が 16.7%、「きょうだい」が 13.7%、「おばあちゃん・おじいちゃん」が 10.5%の順に高くなっている。

中学2年生では、「学校のともだち」が 47.4%、「親」が 43.7%、「だれにも相談したくない」が 15.0%、「わからない」が 14.1%、「きょうだい」が 13.8%の順に高くなっている。

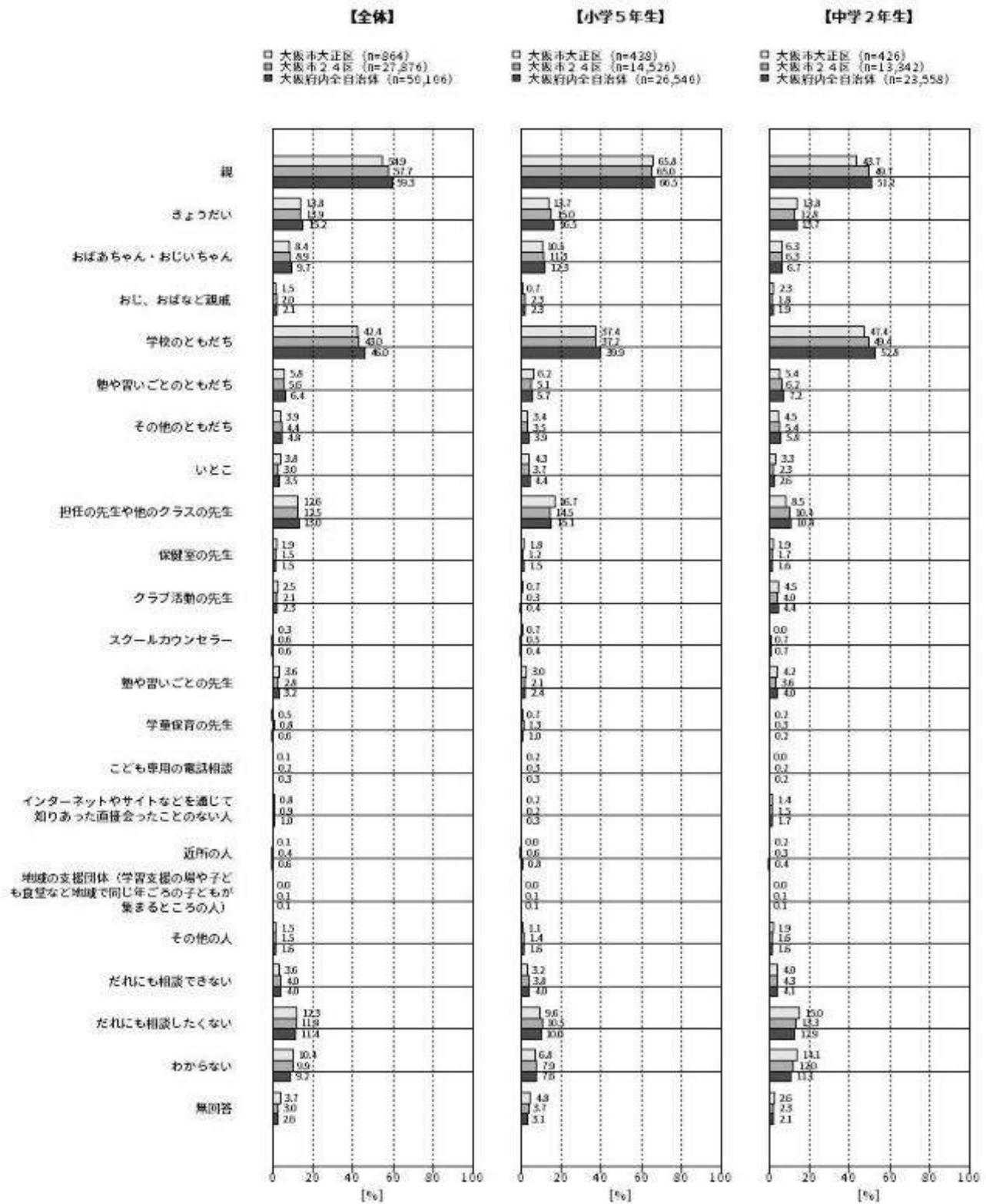


図 100. 嫌なことや悩んでいるときの相談相手

子ども-23-1. 失敗したときに助けてくれる人

① 失敗したときに助けてくれる人 (あてはまる番号すべてに○をつけてください)

大阪市大正区の全体では、「お母さん」が69.0%、「ともだち」が56.6%、「お父さん」が44.9%、「おじいさん・おばあさん」が27.1%、「きょうだい」が26.6%の順に高くなっている。

小学5年生では、「お母さん」が73.1%、「ともだち」が56.8%、「お父さん」が49.3%、「きょうだい」が28.8%、「おじいさん・おばあさん」が28.1%の順に高くなっている。

中学2年生では、「お母さん」が64.5%、「ともだち」が66.0%、「お父さん」が40.4%、「おじいさん・おばあさん」が26.1%、「きょうだい」が24.4%の順に高くなっている。

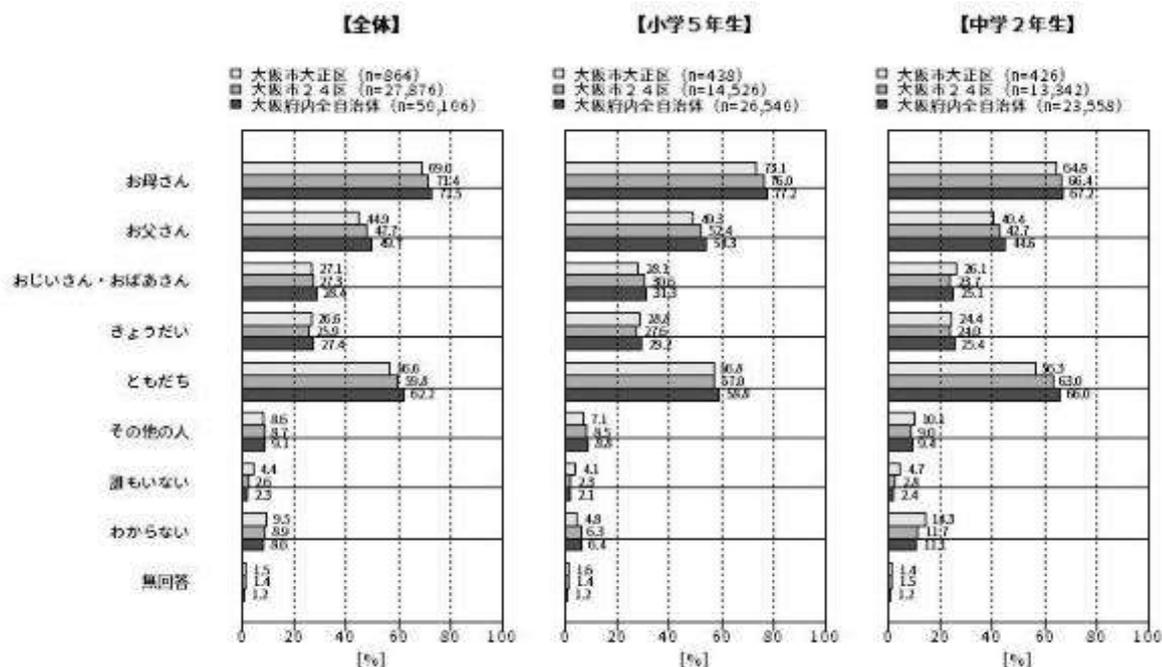


図 101. 失敗したときに助けてくれる人

子ども-23-2. 頑張ったときにほめてくれる人

② 頑張ったときにほめてくれる人 (あてはまる番号すべてに○をつけてください)

大阪市大正区の全体では、「お母さん」が77.1%、「お父さん」が57.6%、「おじいさん・おばあさん」が40.9%、「ともだち」が40.2%、「きょうだい」が22.2%の順に高くなっている。

小学5年生では、「お母さん」が80.4%、「お父さん」が64.4%、「おじいさん・おばあさん」が44.1%、「ともだち」が37.7%、「きょうだい」が24.2%の順に高くなっている。

中学2年生では、「お母さん」が78.7%、「お父さん」が50.7%、「ともだち」が42.7%、「おじいさん・おばあさん」が37.6%、「きょうだい」が20.2%の順に高くなっている。

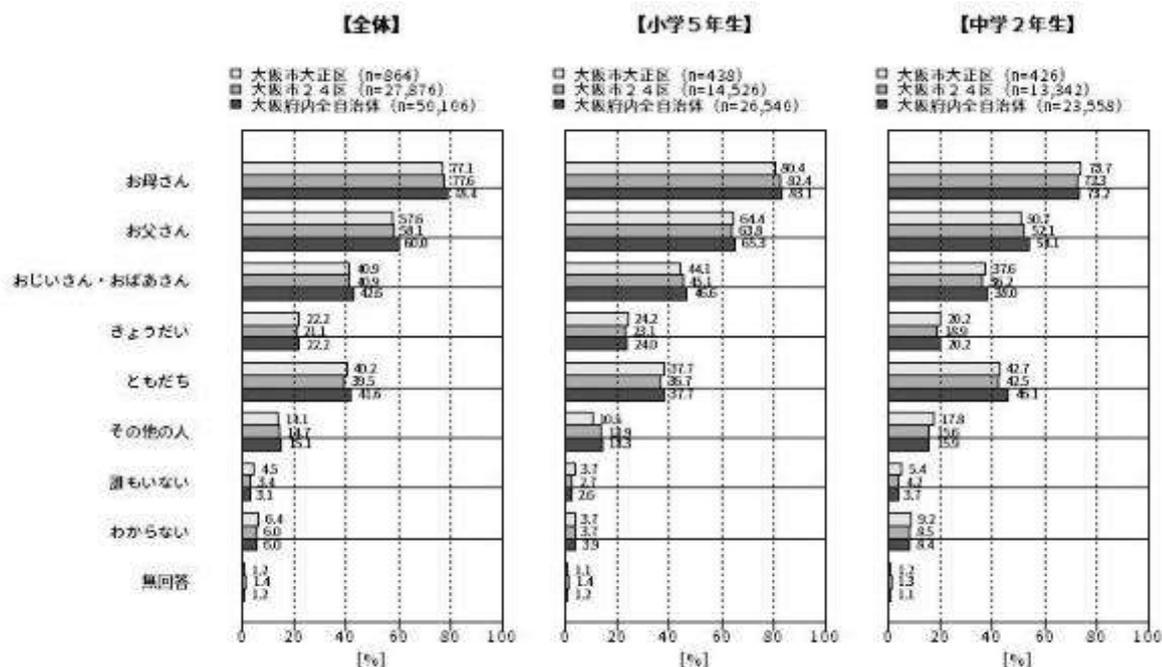


図 102. 頑張ったときにほめてくれる人

子ども-23-3. 一人でできないときに手伝ってくれる人

③ 一人でできないときに手伝ってくれる人 (あてはまる番号すべてに○をつけてください)

大阪市大正区の全体では、「ともだち」が58.4%、「お母さん」が57.3%、「お父さん」が37.3%、「きょうだい」が25.8%、「おじいさん・おばあさん」が24.1%の順に高くなっている。

小学5年生では、「お母さん」が66.7%、「ともだち」が55.9%、「お父さん」が44.3%、「きょうだい」が30.4%、「おじいさん・おばあさん」が27.6%の順に高くなっている。

中学2年生では、「ともだち」が61.0%、「お母さん」が47.7%、「お父さん」が30.0%、「きょうだい」が21.1%、「おじいさん・おばあさん」が20.4%の順に高くなっている。

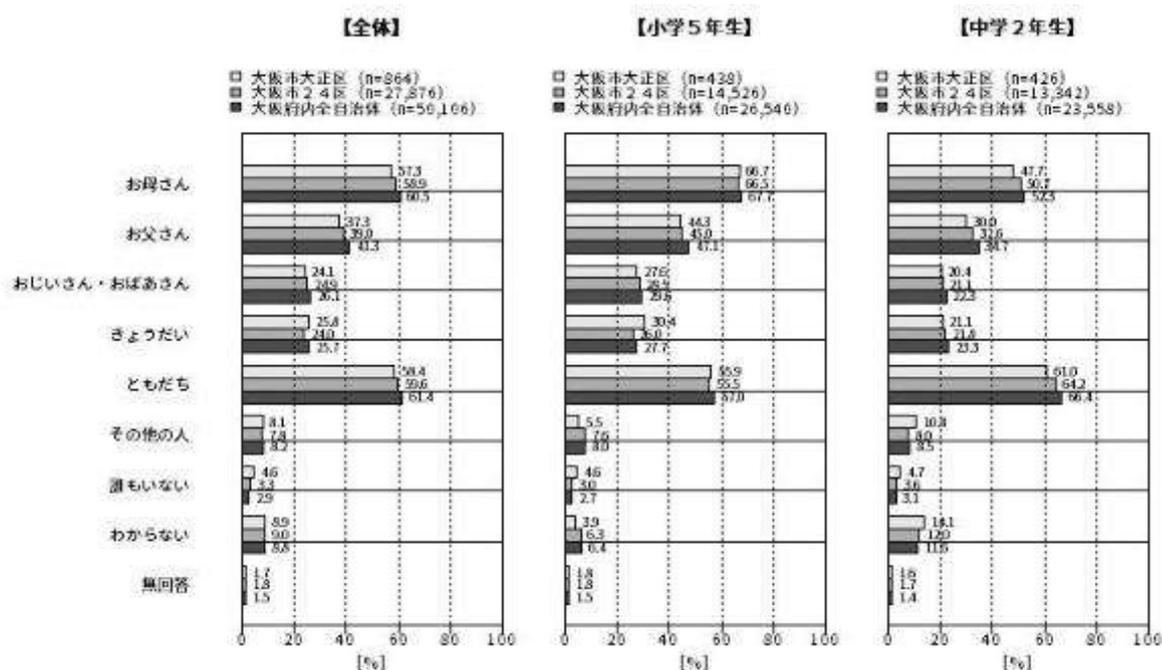


図 103. 一人でできないときに手伝ってくれる人

子ども-23-4. あなたの気持ちをわかってくれる人

④ あなたの気持ちをわかってくれる人 (あてはまる番号すべてに○をつけてください)

大阪市大正区の全体では、「お母さん」が67.2%、「ともだち」が44.6%、「お父さん」が42.0%、「おじいさん・おばあさん」が29.1%、「きょうだい」が27.1%の順に高くなっている。

小学5年生では、「お母さん」が78.1%、「お父さん」が50.5%、「ともだち」が42.2%、「おじいさん・おばあさん」が34.0%、「きょうだい」が29.2%の順に高くなっている。

中学2年生では、「お母さん」が60.1%、「ともだち」が47.0%、「お父さん」が38.3%、「おじいさん・おばあさん」が23.9%、「きょうだい」が21.9%の順に高くなっている。

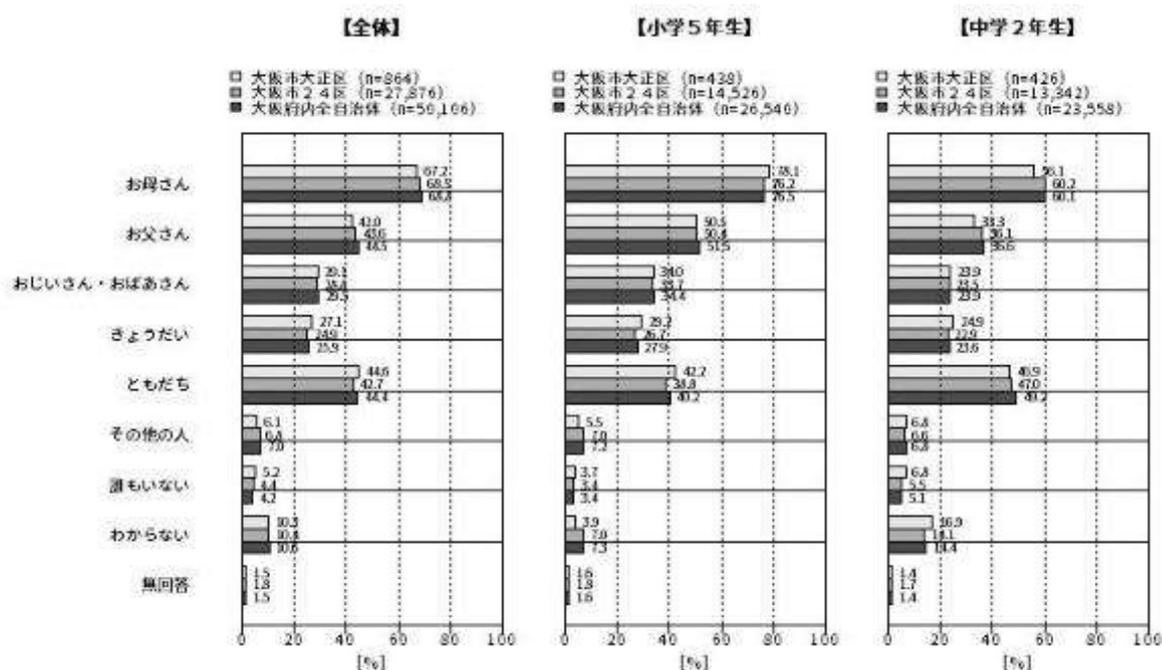


図 104. あなたの気持ちをわかってくれる人

子ども-23-5. あなたのことを信じてくれる人

⑤ あなたのことを信じてくれる人 (あてはまる番号すべてに○をつけてください)

大阪市大正区の全体では、「お母さん」が66.6%、「お父さん」が51.7%、「ともだち」が39.7%、「おじいさん・おばあさん」が38.3%、「きょうだい」が28.2%の順に高くなっている。

小学5年生では、「お母さん」が75.1%、「お父さん」が59.1%、「おじいさん・おばあさん」が42.7%、「ともだち」が39.5%、「きょうだい」が30.4%の順に高くなっている。

中学2年生では、「お母さん」が57.7%、「お父さん」が44.1%、「ともだち」が39.9%、「おじいさん・おばあさん」が33.8%、「きょうだい」が26.1%の順に高くなっている。

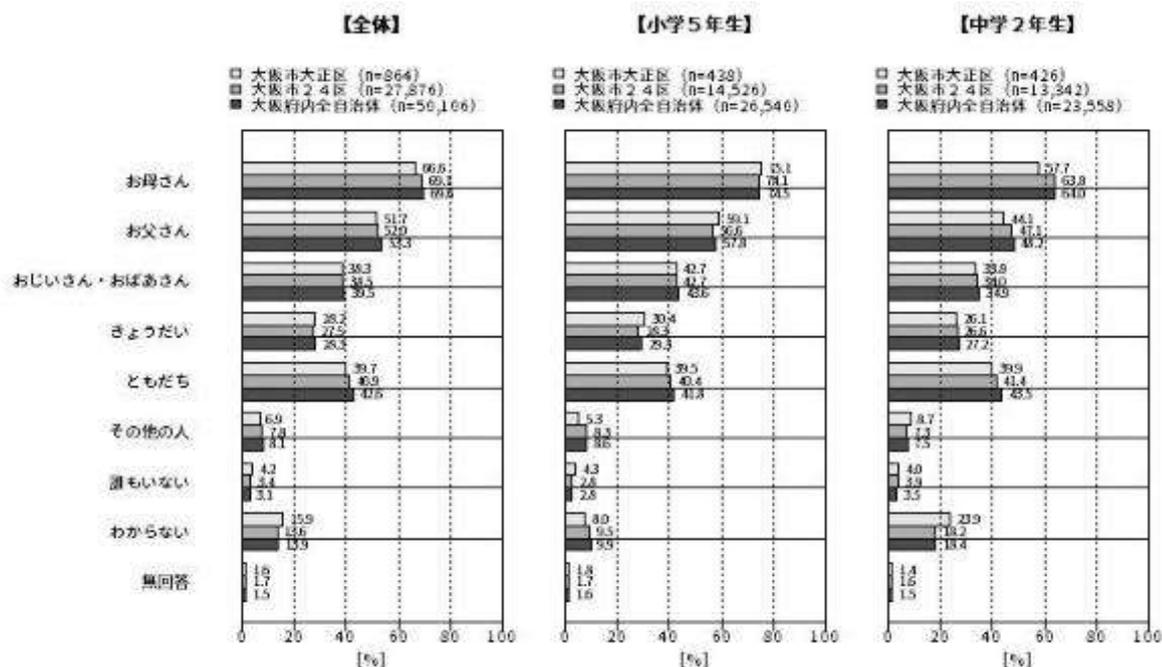


図 105. あなたのことを信じてくれる人

子ども-23-6. 悩んだときの対処を教えてください

⑥ 悩んだときの対処を教えてください (あてはまる番号すべてに○をつけてください)

大阪市大正区の全体では、「お母さん」が64.5%、「ともだち」が42.0%、「お父さん」が41.4%、「おじいさん・おばあさん」が25.3%、「きょうだい」が21.2%の順に高くなっている。

小学5年生では、「お母さん」が73.7%、「お父さん」が48.9%、「ともだち」が38.6%、「おじいさん・おばあさん」が29.5%、「きょうだい」が23.5%の順に高くなっている。

中学2年生では、「お母さん」が54.9%、「ともだち」が45.5%、「お父さん」が33.8%、「おじいさん・おばあさん」が21.1%、「わからない」が19.5%の順に高くなっている。

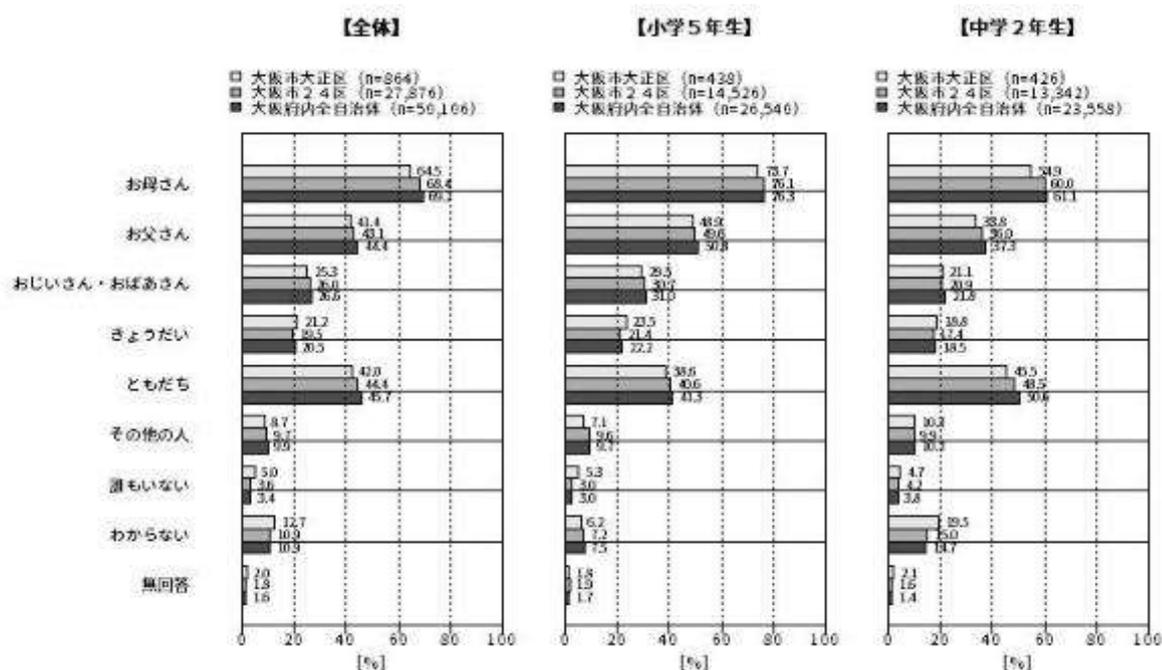


図 106. 悩んだときの対処を教えてください

子ども-23-7. 良いところ、良くないところをわかってくれる人

⑦ 良いところ、良くないところをわかってくれる人 (あてはまる番号すべてに○をつけてください)

大阪市大正区の全体では、「お母さん」が77.1%、「お父さん」が55.7%、「ともだち」が42.1%、「きょうだい」が33.9%、「おじいさん・おばあさん」が33.7%の順に高くなっている。

小学5年生では、「お母さん」が84.5%、「お父さん」が62.1%、「おじいさん・おばあさん」が38.1%、「ともだち」が36.5%、「きょうだい」が34.7%の順に高くなっている。

中学2年生では、「お母さん」が69.5%、「お父さん」が49.1%、「ともだち」が47.9%、「きょうだい」が33.1%、「おじいさん・おばあさん」が29.1%の順に高くなっている。

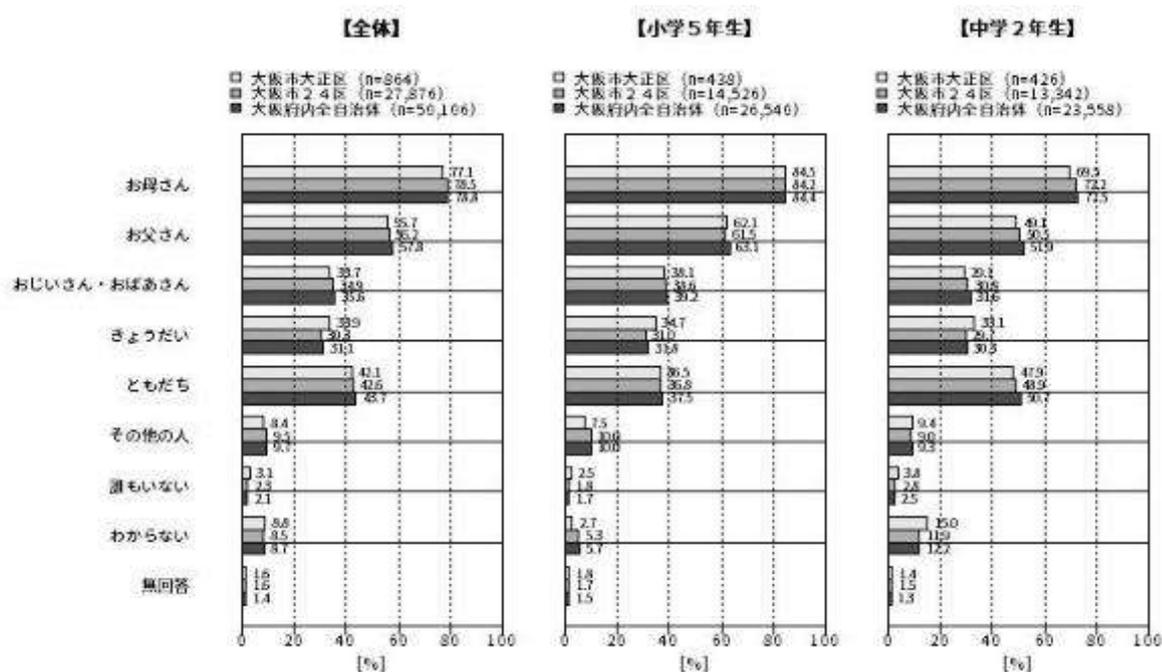


図 107. 良いところ、良くないところをわかってくれる人

子ども-23-8. あなたのことを大切にしてくれる人

⑧ あなたのことを大切にしてくれる人 (あてはまる番号すべてに○をつけてください)

大阪市大正区の全体では、「お母さん」が81.4%、「お父さん」が68.3%、「おじいさん・おばあさん」が57.8%、「ともだち」が47.1%、「きょうだい」が44.0%の順に高くなっている。

小学5年生では、「お母さん」が89.0%、「お父さん」が76.3%、「おじいさん・おばあさん」が63.2%、「きょうだい」が47.7%、「ともだち」が43.6%の順に高くなっている。

中学2年生では、「お母さん」が73.5%、「お父さん」が60.1%、「おじいさん・おばあさん」が52.1%、「ともだち」が50.7%、「きょうだい」が40.1%の順に高くなっている。

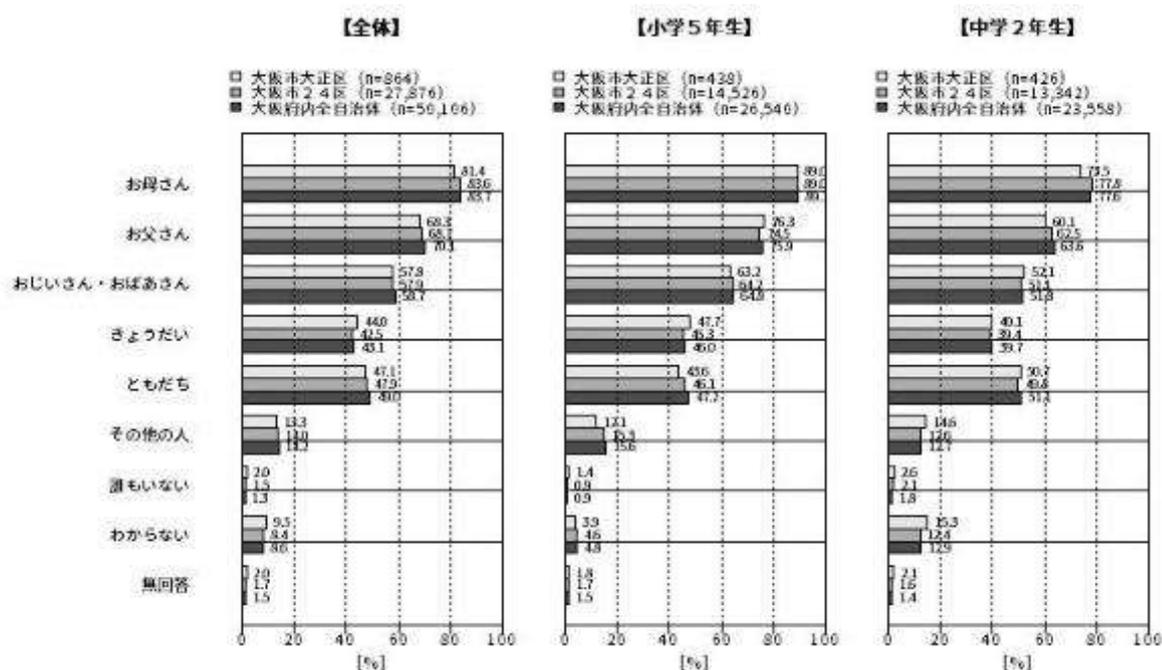


図 108. あなたのことを大切にしてくれる人



### 3. クロス集計および分析結果

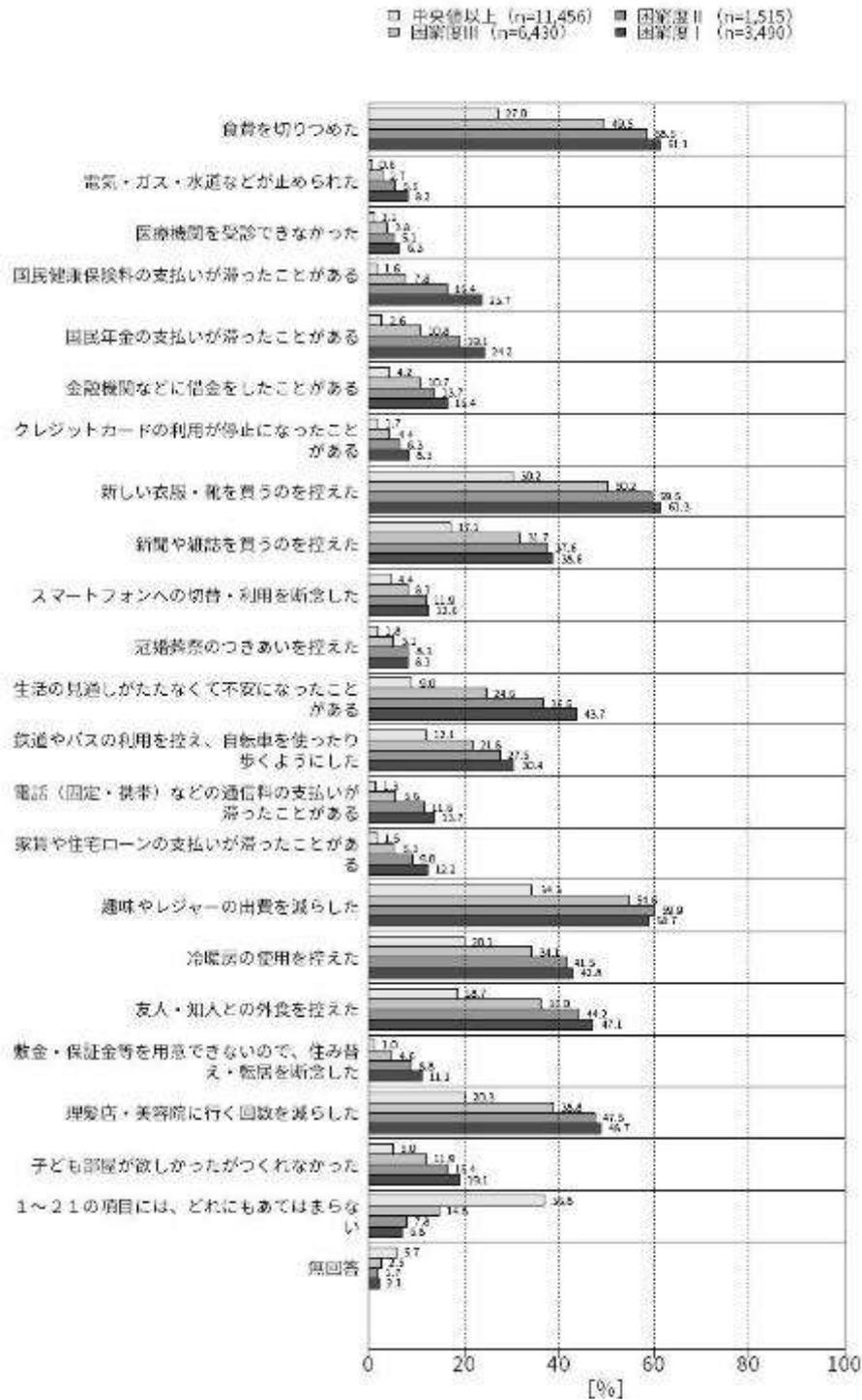
以下のグラフは、主に困窮度別（大阪市24区での分類に基づく）に示している。大阪市24区全体の傾向については記述していないが、多くにおいて同様の傾向が見られる。

#### 3-1. 基本情報

##### (1) 経済状況

##### 困窮度別に見た、経済的な理由による経験（保護者票 問7）

<大阪市24区>



<大阪市大正区>

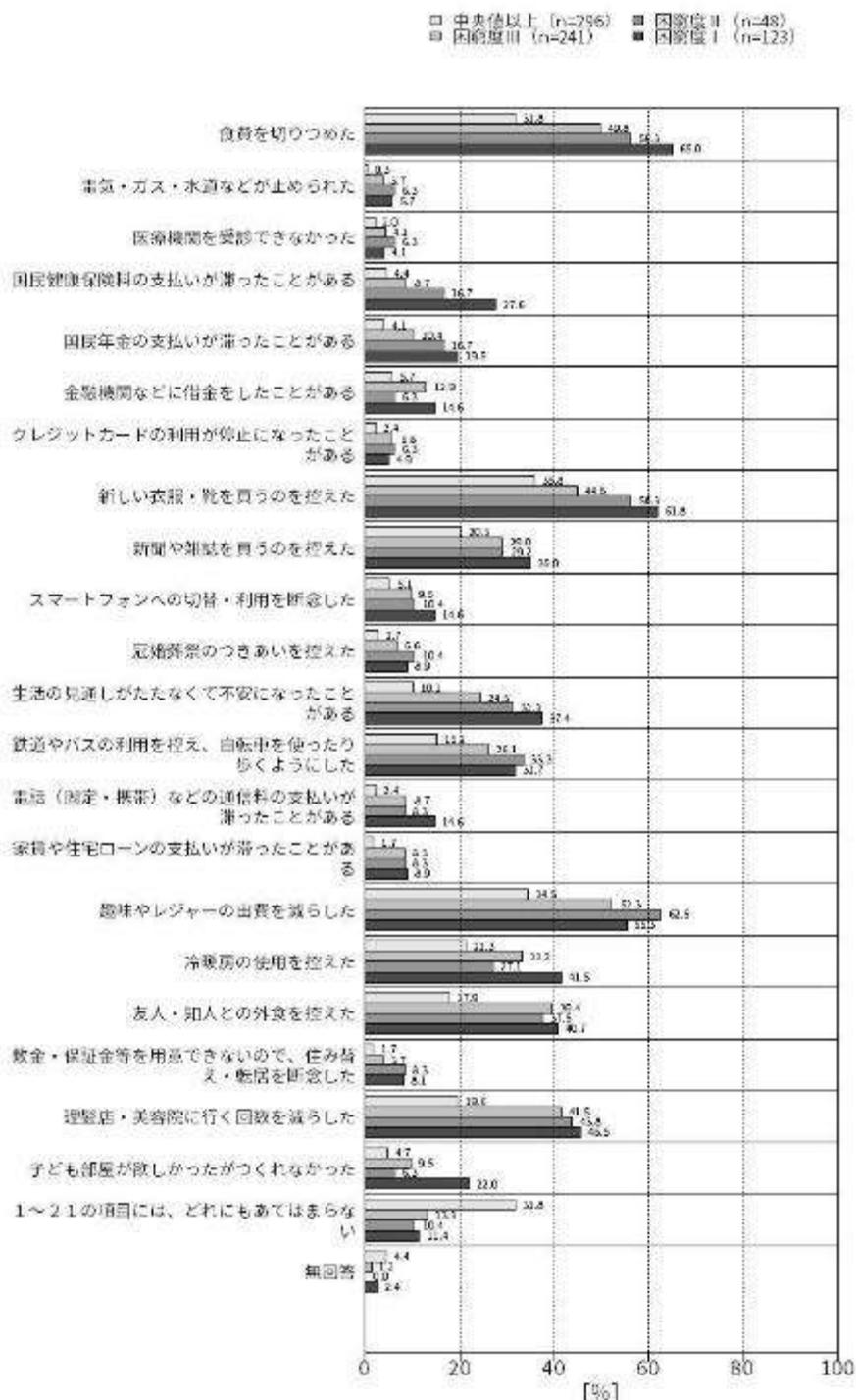


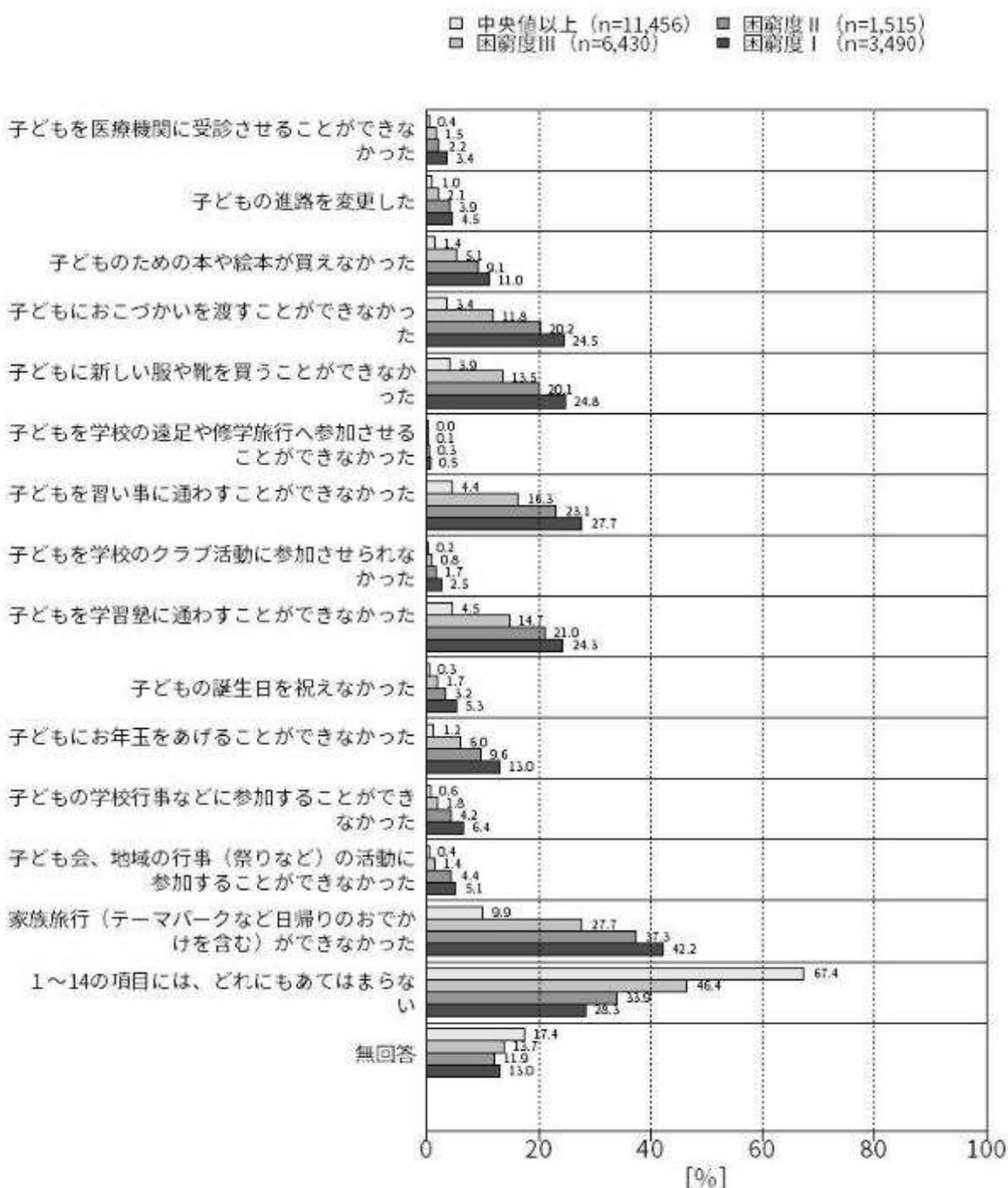
図 109. 困窮度別に見た、経済的な理由による経験

※困窮度については図 5 参照。

困窮度別に経済的な理由による経験を見ると、中央値以上群と困窮度 I 群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度 I 群の数値を挙げると、「電気・ガス・水道などが止められた」は 5.7%（中央値以上群に対して、19.0 倍）、「国民健康保険料の支払いが滞ったことがある」は 27.6%（6.3 倍）、「電話（固定・携帯）などの通信料の支払いが滞ったことがある」は 14.6%（6.1 倍）となり、困窮度 I 群において高い項目が複数みられた。また、「どれにもあてはまらない」は、中央値以上群で 31.8%なのに対して、困窮度 I 群において 11.4%であった。

困窮度別に見た、子どもについて経済的な理由による経験（保護者票 問13）

<大阪市 24 区>



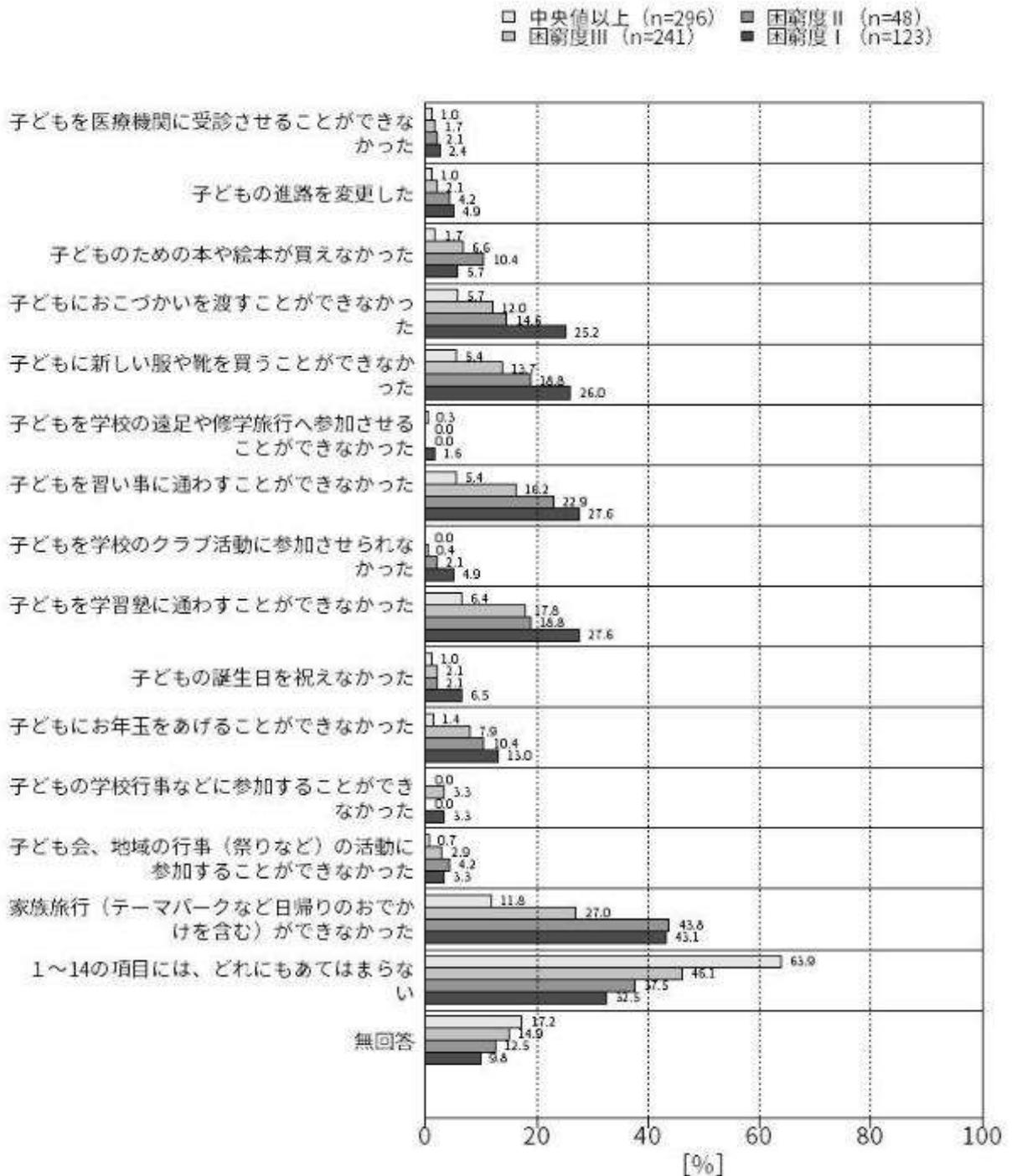
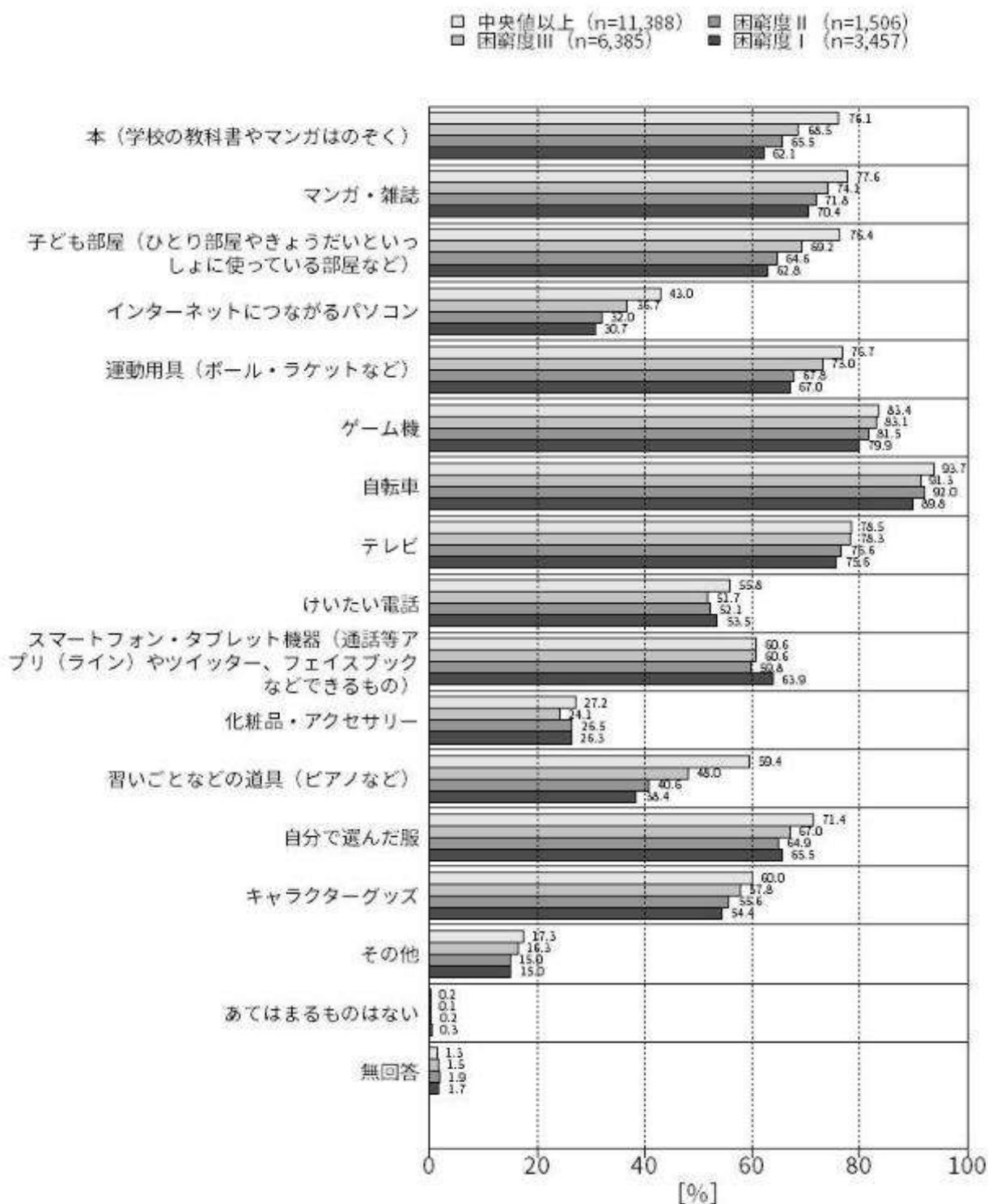


図 110. 困窮度別に見た、子どもについて経済的な理由による経験

困窮度別に子どもへの経済的な理由による経験を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度Ⅰ群の数値を挙げると、「子どもにお年玉をあげることができなかった」は13.0%（中央値以上群に対して、9.3倍）、「子どもの誕生日を祝えなかった」は6.5%（6.5倍）、「子どもを学校の遠足や修学旅行へ参加させることができなかった」は1.6%（5.3倍）となり、困窮度Ⅰ群において高い項目が複数みられた。

困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるもの（子ども票 問 25）

<大阪市 24 区>



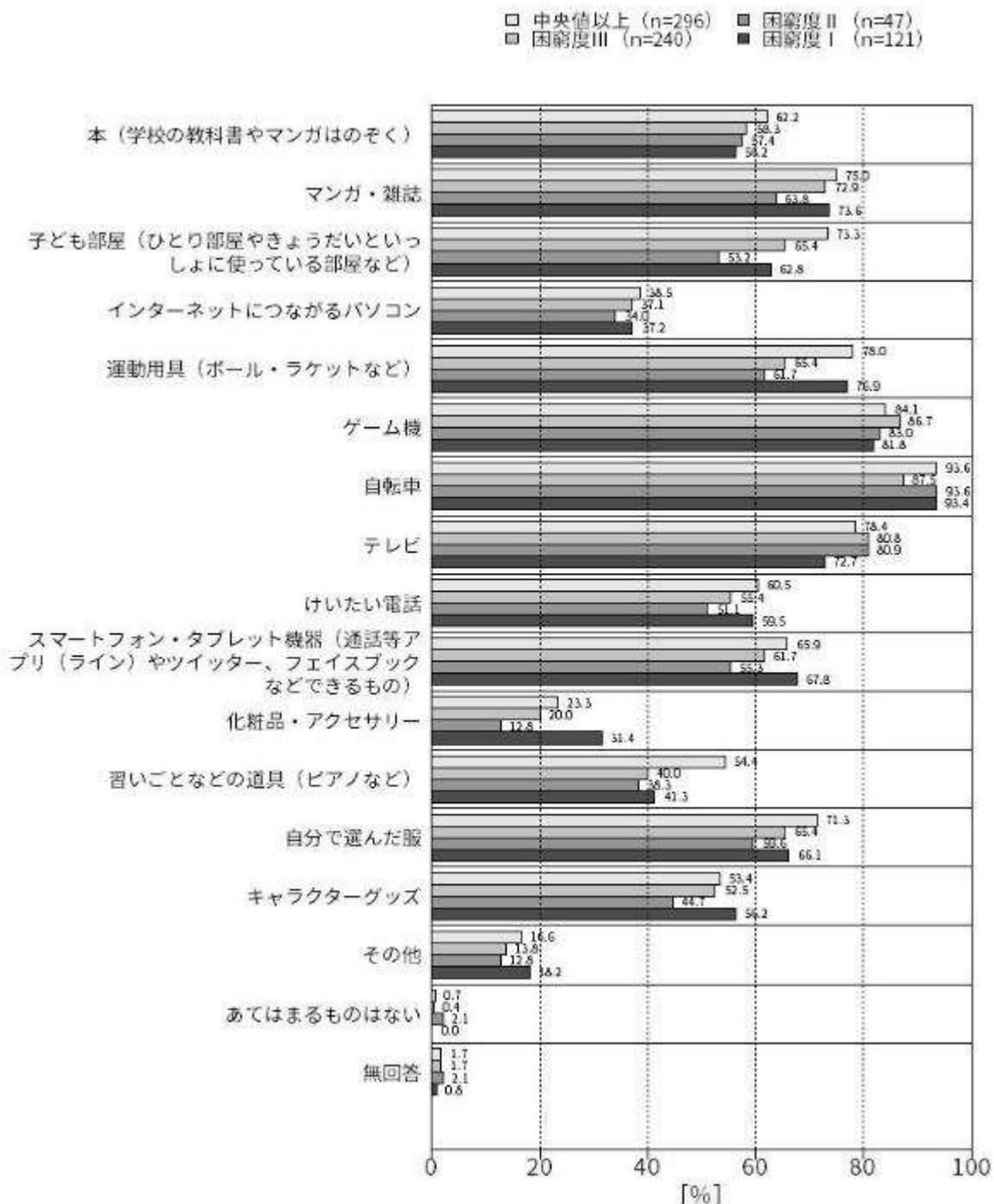
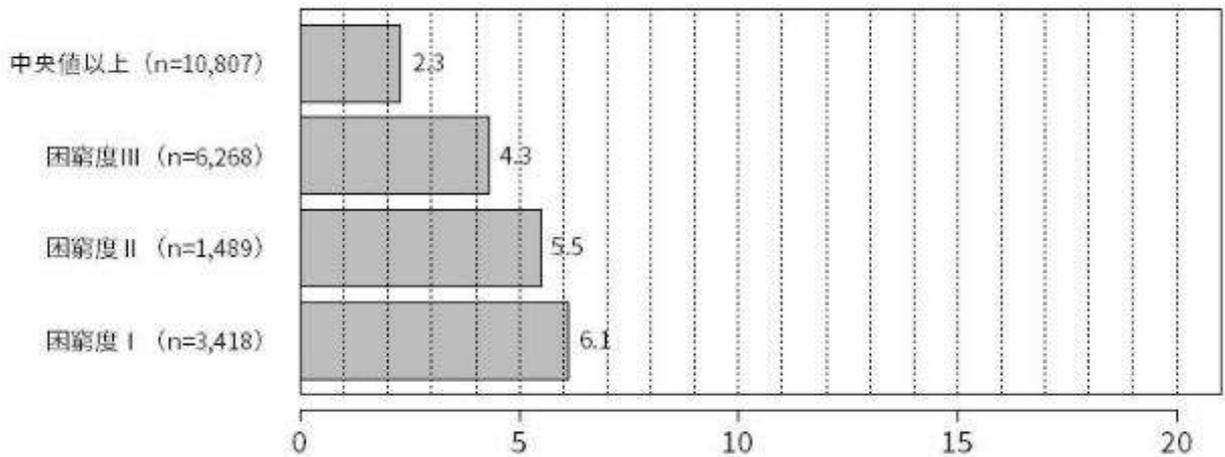


図 111. 困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるもの

困窮度別に子どもの持っているもの、使うことができるものを見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、中央値以上群の数値を挙げると、「習いごとなどの道具 (ピアノなど)」54.4% (困窮度Ⅰ群に対して、1.3倍)、「子ども部屋 (ひとり部屋やきょうだいといっしょに使っている部屋など)」73.3% (1.2倍) となり、中央値以上群において高い項目、すなわち困窮度Ⅰ群においては低い項目が複数みられた。困窮度が高いことでこれらを持っていない、使うことができないことは、子どもの生活や将来に影響を及ぼす可能性がある。

困窮度別に見た、経済的な理由による経験の該当数の平均（保護者票 問7）

<大阪市 24 区>



<大阪市大正区>

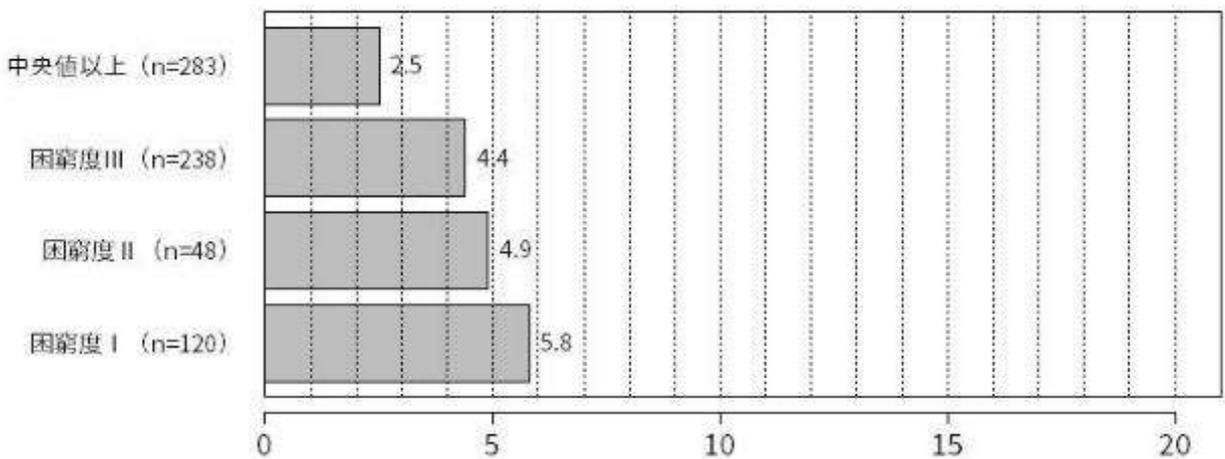


図 112. 困窮度別に見た、経済的な理由による経験の該当数の平均

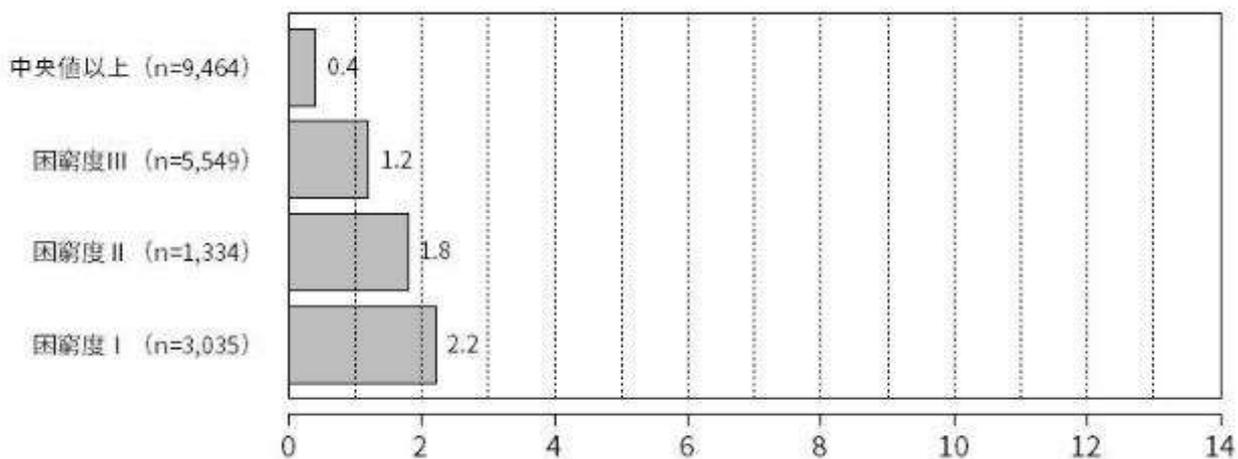
経済的な理由による経験として示した 21 個の項目のうち、該当すると回答された数について、困窮度別に平均値を算出した。

その結果、困窮度が高くなるにつれ、経済的な理由による経験の該当数は多くなっていることがみられた。

困窮度と経済的な理由による経験の該当数についてさらに詳細に検討した結果、該当なし（どれにもあてはまらない）、1～6 個に該当、7 個以上に該当、の 3 群に分けることができた。図 193 および図 195 では、これらの結果と体や気持ちで気になることとの関連を示している。これは、最低限度の生活に必要なものの 1 つである健康を、所得を基に計算される困窮度だけでなく、具体的な充足の程度と関連して把握するためである。

困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験の該当数の平均（保護者票 問 13）

<大阪市 24 区>



<大阪市大正区>

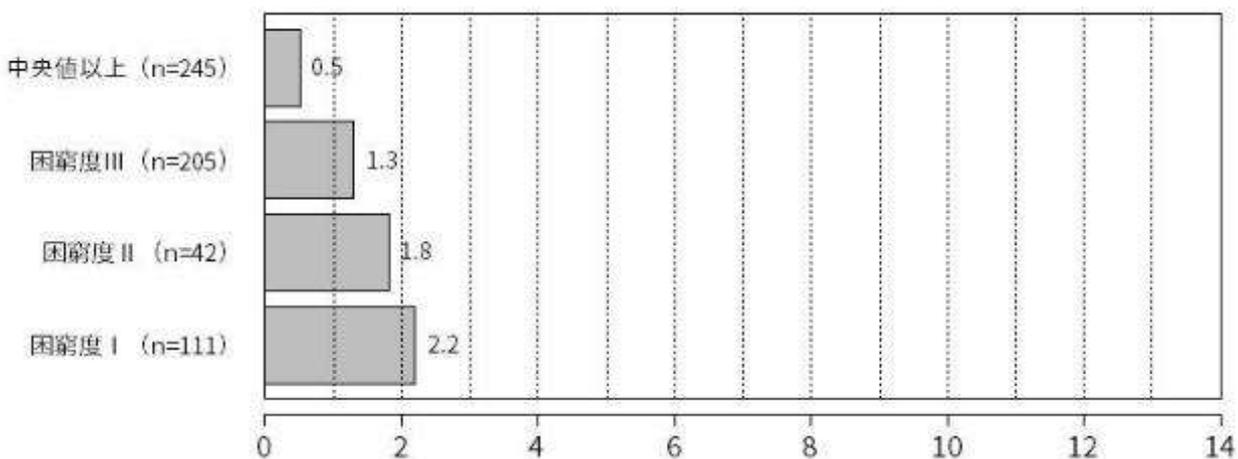


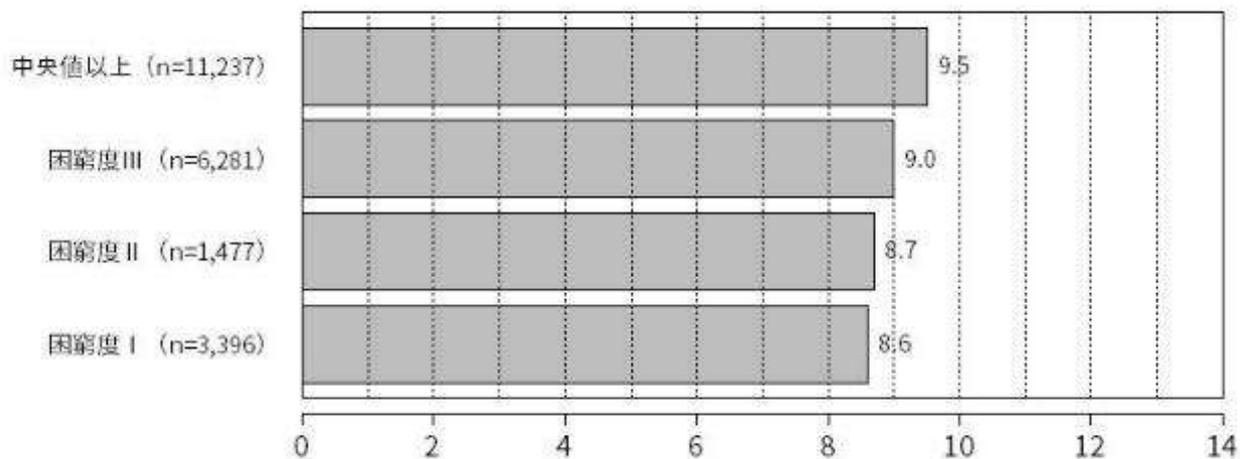
図 113. 困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験の該当数の平均

子どもに関して経済的な理由による経験として示した 14 個の項目のうち、該当すると回答された数について、困窮度別に平均値を算出した。

その結果、中央値以上群では 0.5 個、困窮度Ⅰ群では 2.2 個と経済的な理由で子どもにできなかったことの該当数に違いがある様子がみられた。

困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるものの該当数の平均  
(子ども票 問 25)

<大阪市 24 区>



<大阪市大正区>

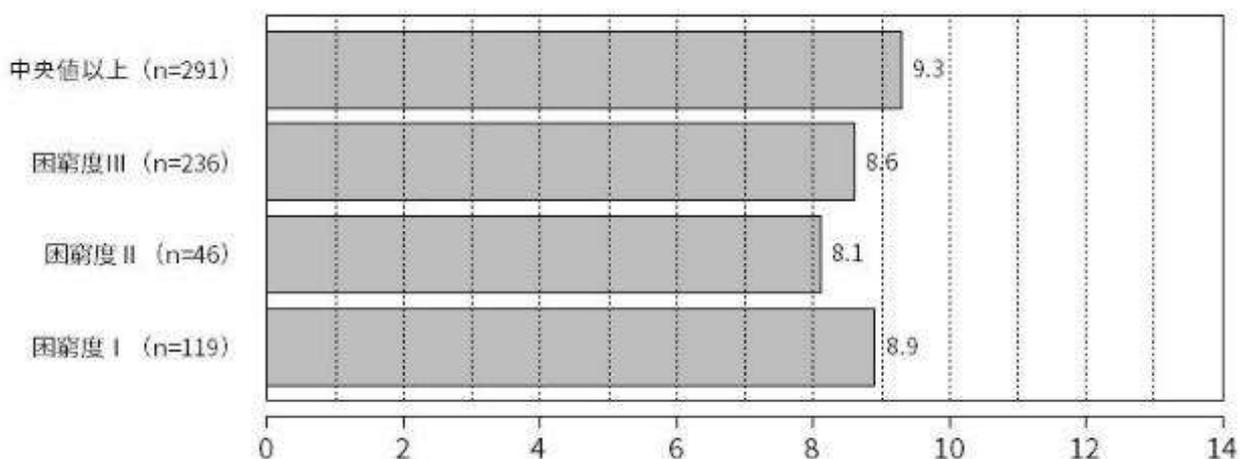


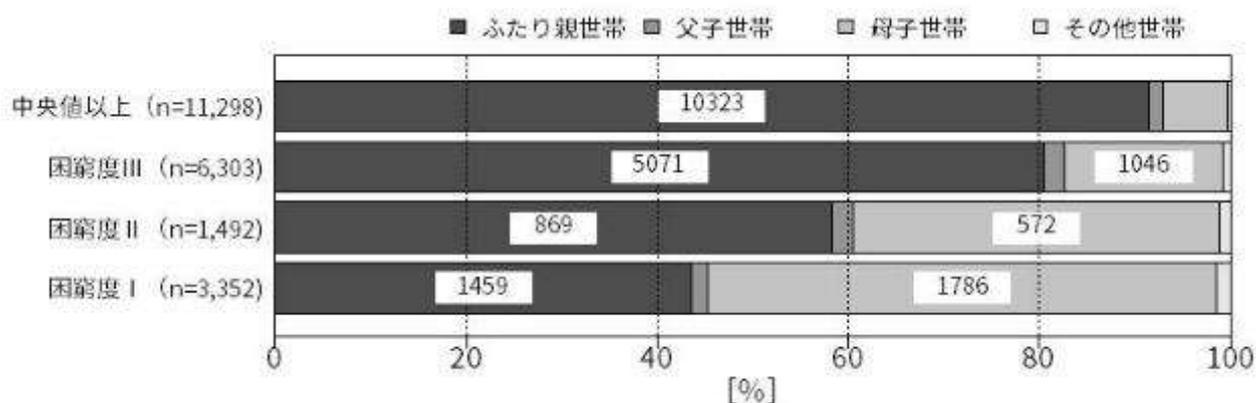
図 114. 困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるものの該当数の平均

子どもの持っているもの、使うことができるものとして示した 14 個の項目のうち、該当すると回答された数について、困窮度別に平均値を算出した。

その結果、中央値以上群では 9.3 個、困窮度 I 群では 8.9 個であった。

困窮度別に見た、世帯員の構成（保護者票 世帯構成）

<大阪市 24 区>



<大阪市大正区>

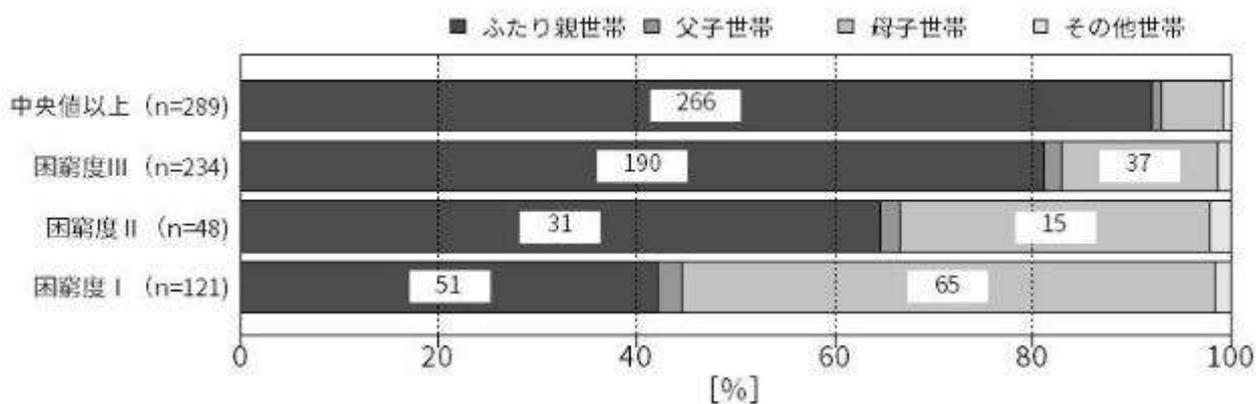
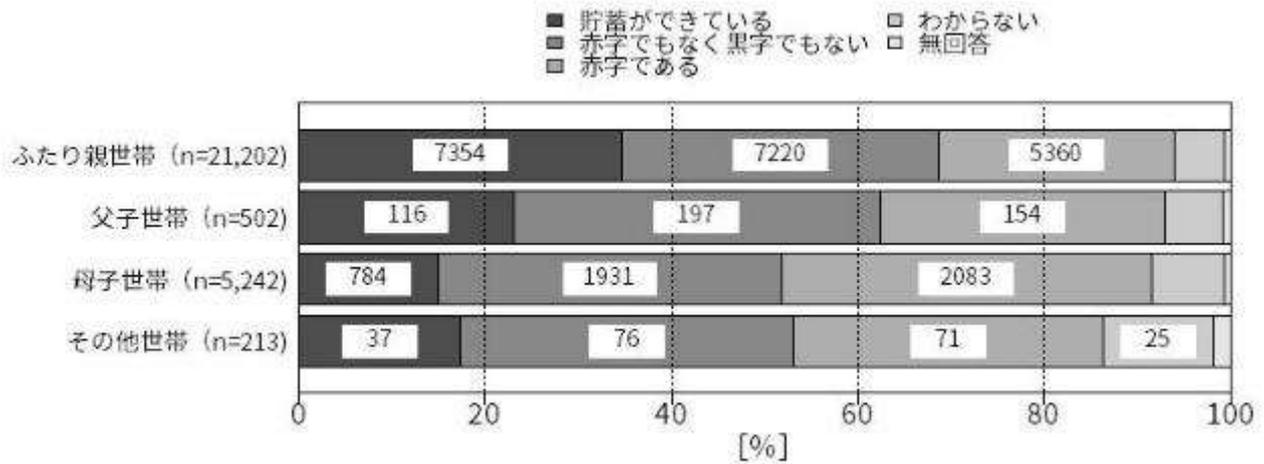


図 115. 困窮度別に見た、世帯員の構成

困窮度別に世帯員の構成を見ると、「ふたり親世帯」と回答したのは、中央値以上群が 92.0%であったのに対して、困窮度Ⅰ群は 42.1%だった。また、「母子世帯」と回答したのは、中央値以上群が 6.2%であったのに対して、困窮度Ⅰ群は 53.7%だった。

世帯構成別に見た、家計状況（保護者票 問6(1)）

<大阪市24区>



<大阪市大正区>

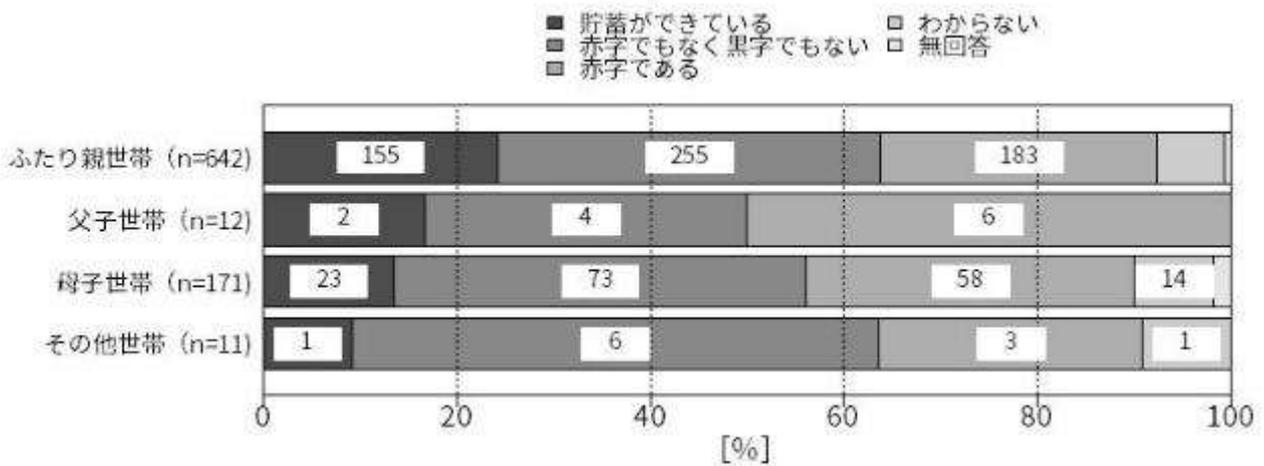
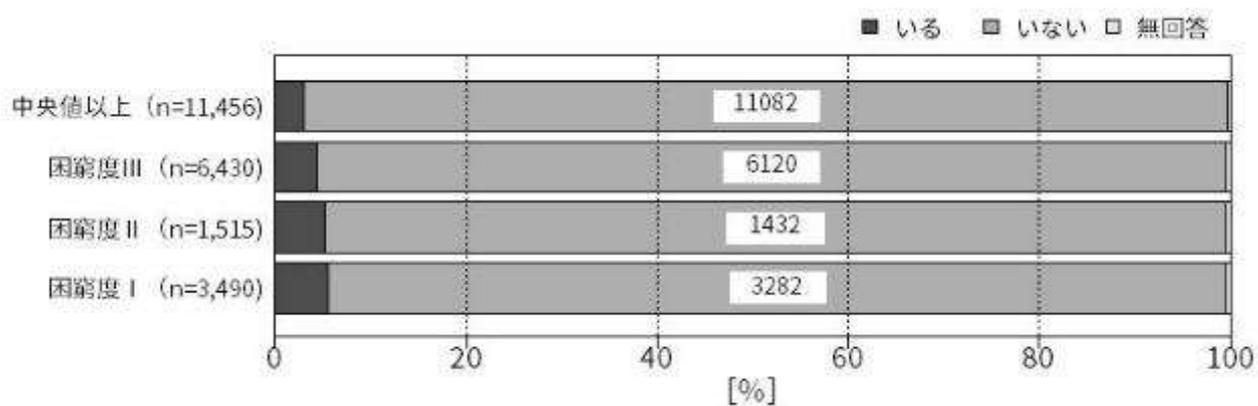


図 116. 世帯構成別に見た、家計状況

世帯構成別に家計状況を見ると、「貯蓄ができています」と回答したのは、ふたり親世帯が24.1%なのに対して、母子世帯は13.5%だった。また、「赤字である」と回答したのは、ふたり親世帯が28.5%なのに対して、母子世帯は33.9%だった。

困窮度別に見た、介護または介助の必要な方（保護者票 問3(1)②）

<大阪市 24 区>



<大阪市大正区>

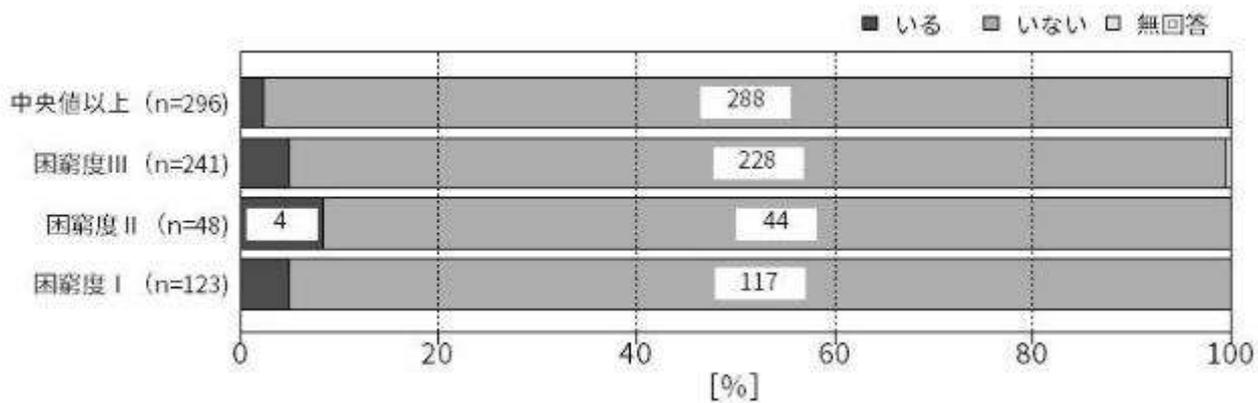
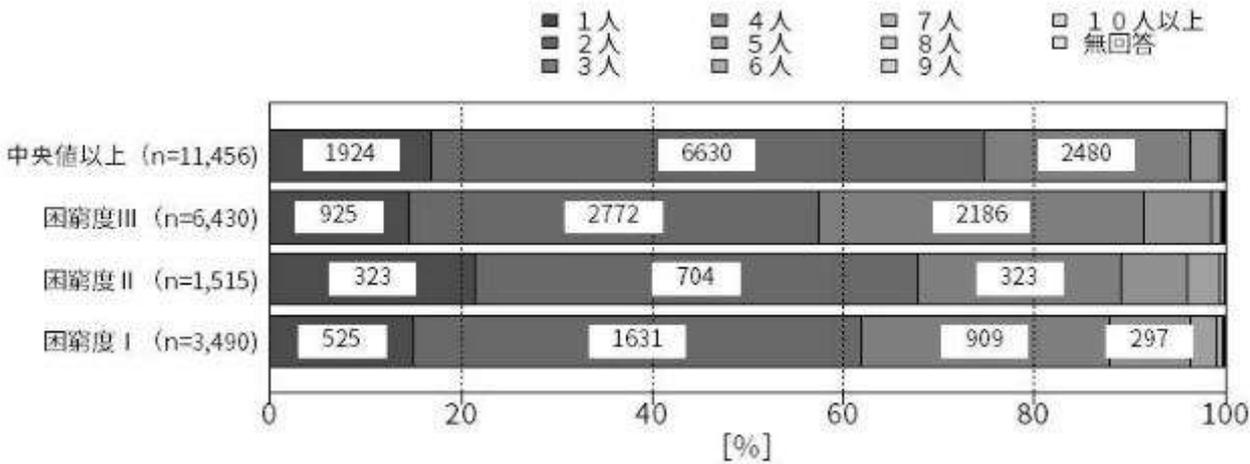


図 117. 困窮度別に見た、介護または介助の必要な方

困窮度別に介護または介助の必要な方を見ると、中央値以上群では「いる」と回答した割合が 2.4%であったのに対して、困窮度Ⅰ群では 4.9%であった。

困窮度別に見た、子どもの人数（保護者票 問3(1)③）

<大阪市 24 区>



<大阪市大正区>

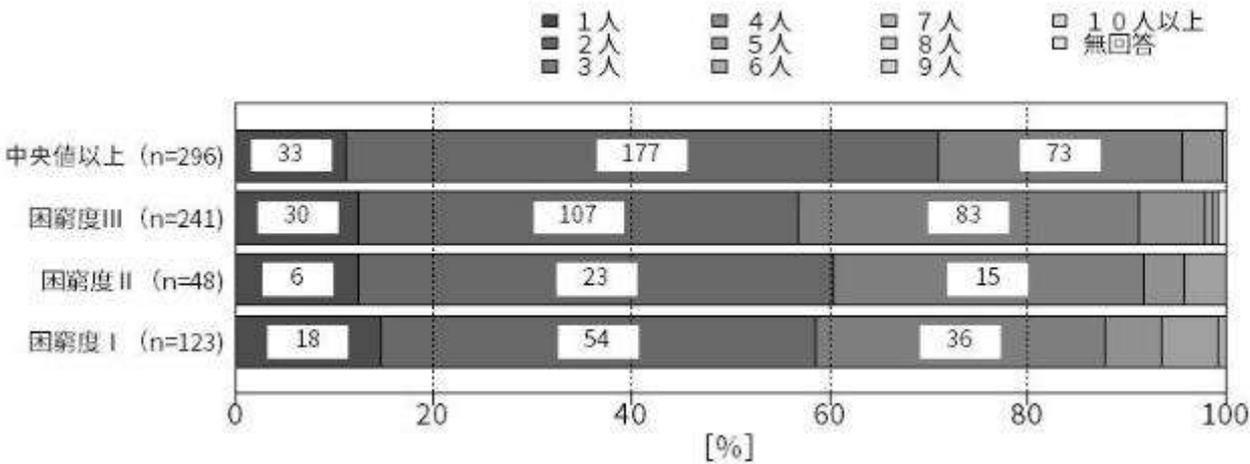
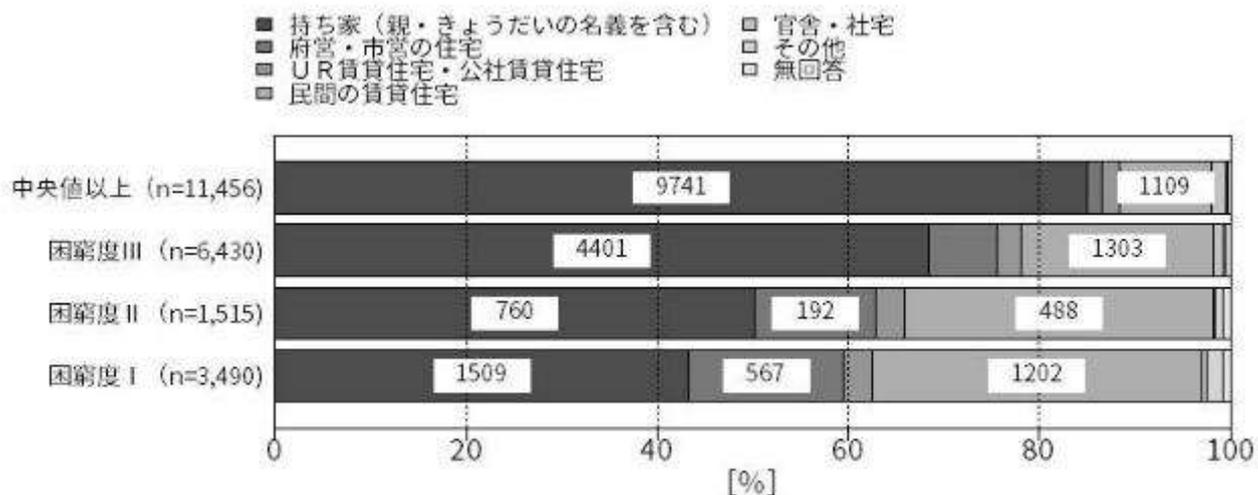


図 118. 困窮度別に見た、子どもの人数

困窮度別に子どもの人数を見ると、中央値以上群において3人以上が28.7%であったのに対して、困窮度Ⅰ群では、41.5%であった。

困窮度別に見た、住居（保護者票 問 4）

<大阪市 24 区>



<大阪市大正区>

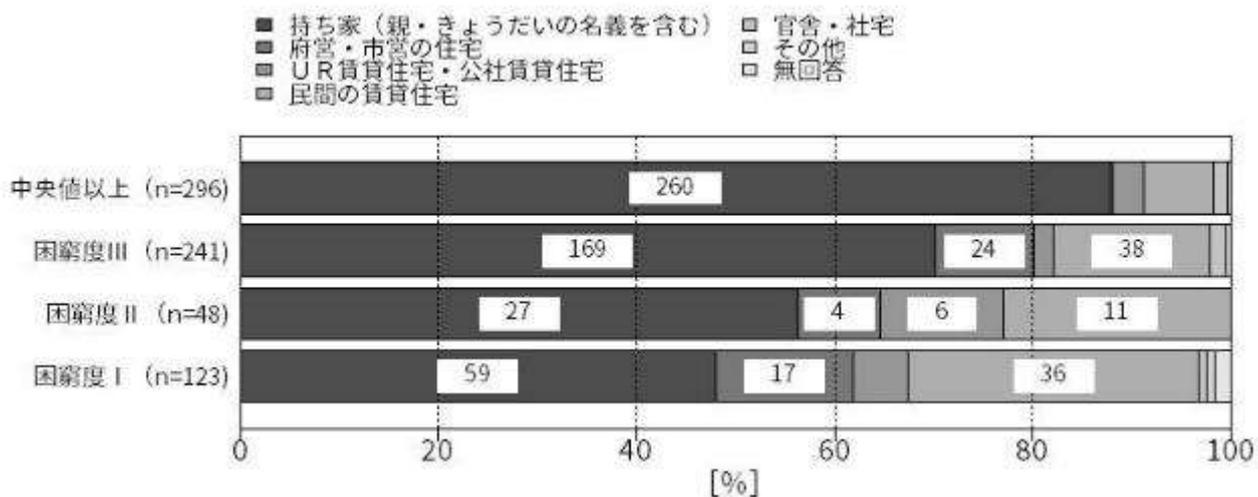
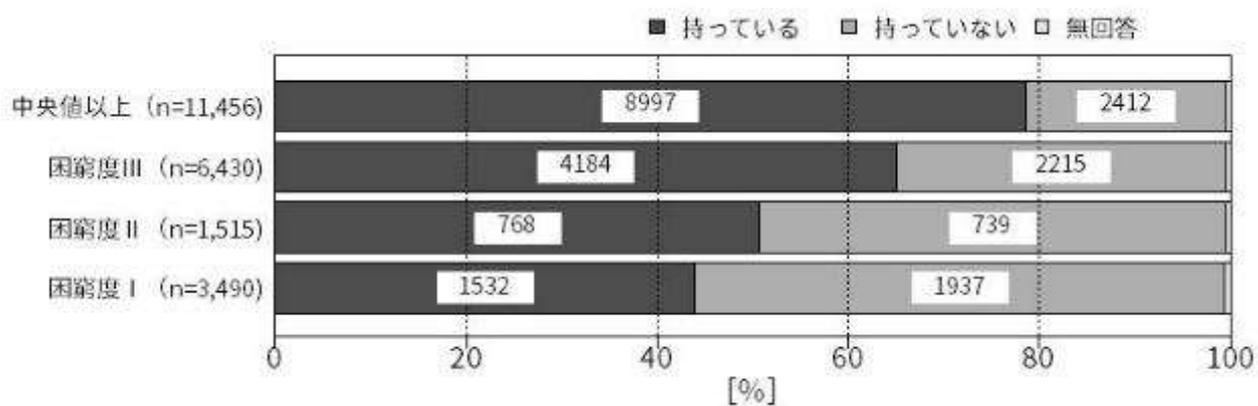


図 119. 困窮度別に見た、住居

困窮度別に住居を見ると、中央値以上群では、「持ち家」と回答した割合は 87.8%であったのに対して、困窮度Ⅰ群では、48.0%であった。

困窮度別に見た、自家用車の所有（保護者票 問5）

<大阪市 24 区>



<大阪市大正区>

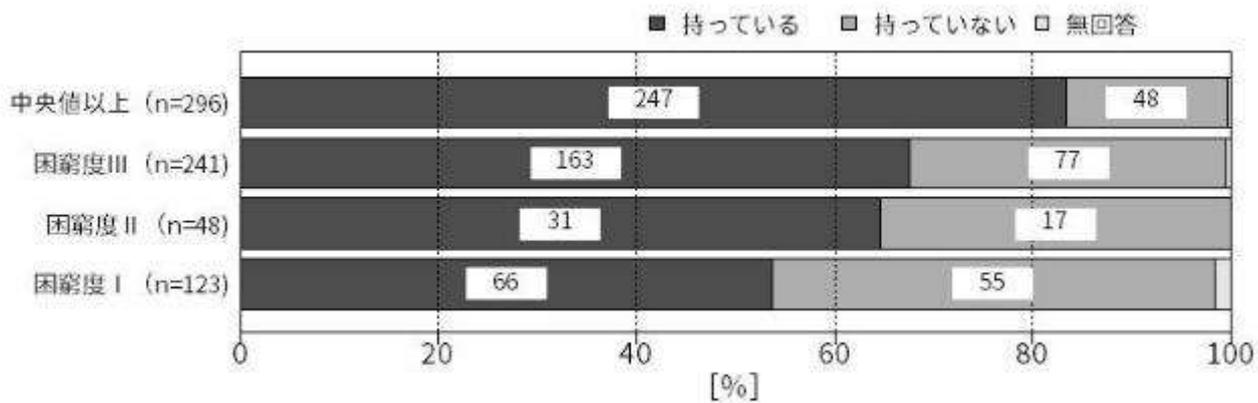
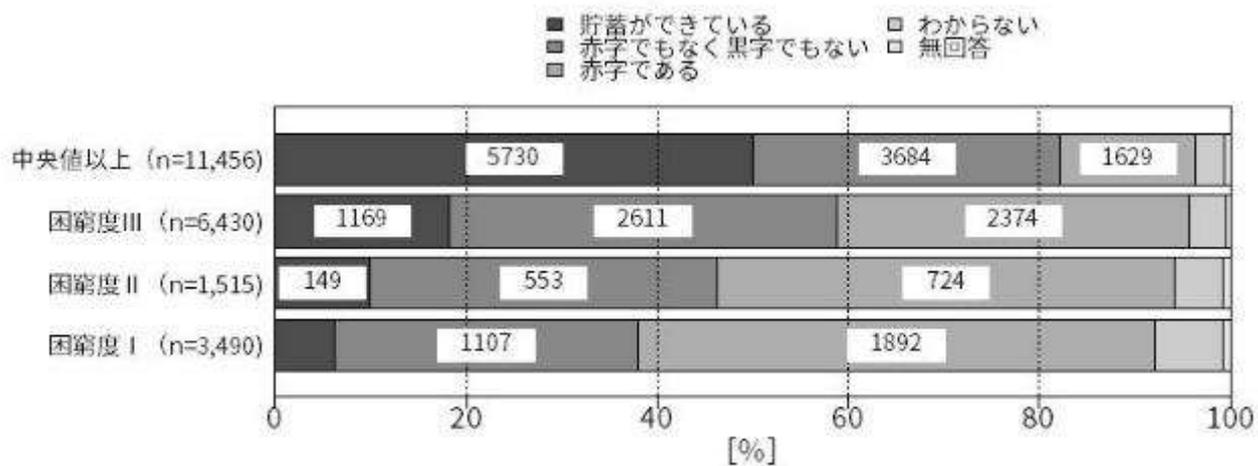


図 120. 困窮度別に見た、自家用車の所有

困窮度別に自家用車の所有を見ると、中央値以上群では、車を所有している世帯が 83.4%であったのに対して、困窮度 I 群では 53.7%であった。

困窮度別に見た、家計状況（保護者票 問6(1)）

<大阪市 24 区>



<大阪市大正区>

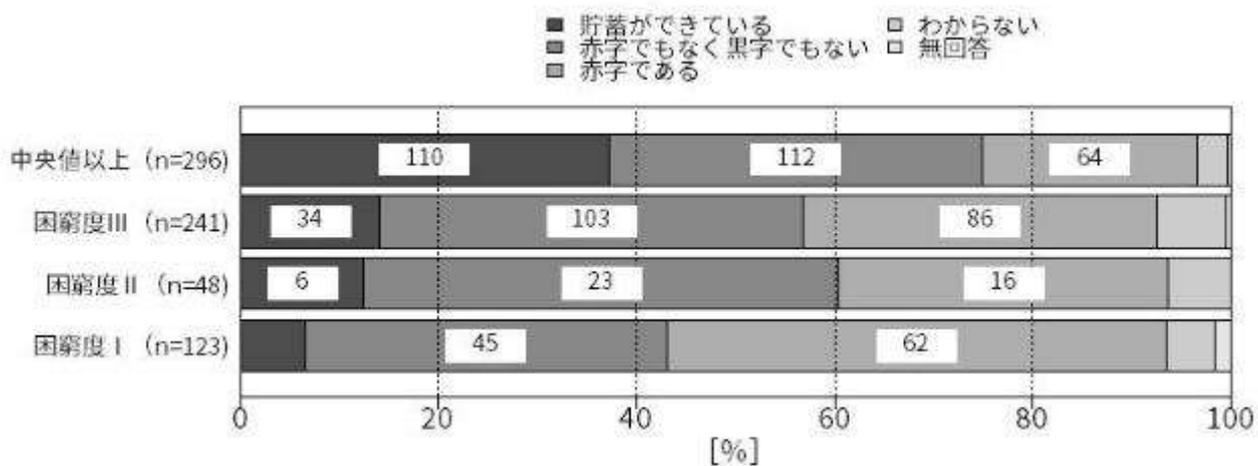
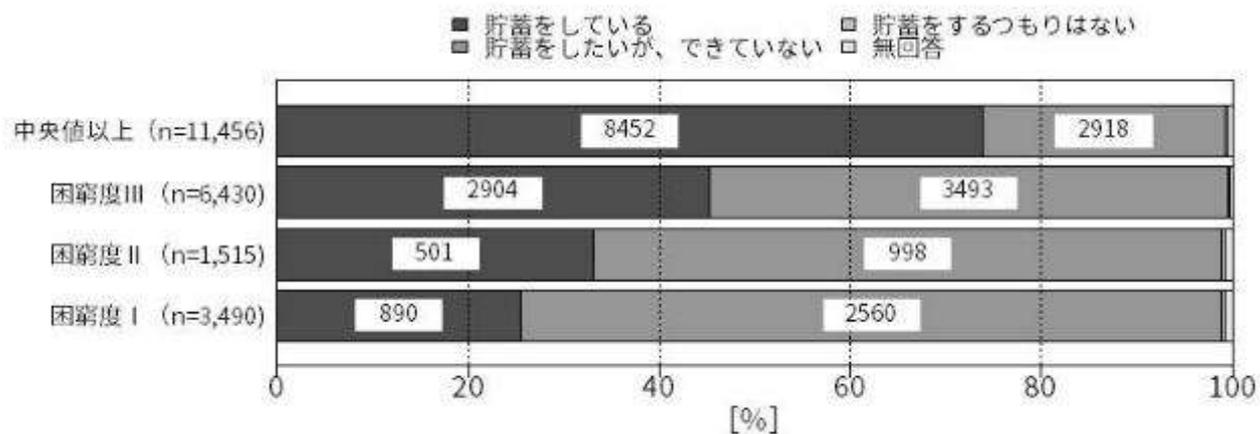


図 121. 困窮度別に見た、家計状況

困窮度別に家計の状況を見ると、中央値以上群では、「赤字である」と回答した世帯の割合は、21.6%であったのに対して、困窮度Ⅰ群では、50.4%であった。

困窮度別に見た、子どものための貯蓄（保護者票 問 6(3)）

<大阪市 24 区>



<大阪市大正区>

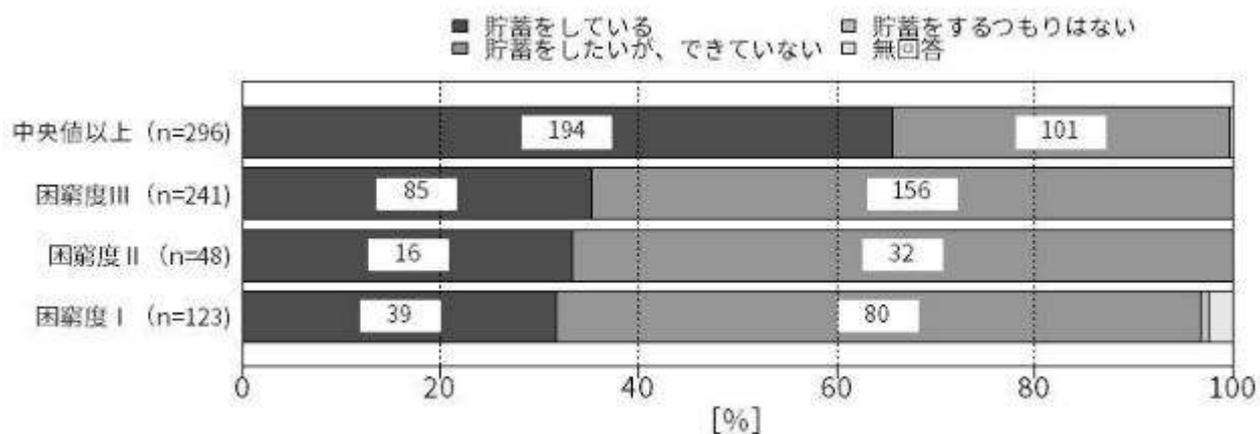


図 122. 困窮度別に見た、子どものための貯蓄

困窮度別に子どものための貯蓄を見ると、中央値以上群では、「貯蓄をしている」と回答する割合が 65.5%であったが、困窮度Ⅰ群では 31.7%であり、「貯蓄をしたいが、できていない」と回答する割合が 65.0%であった。